

2020年度

神 奈 川 県 病 院 協 会
会 務 及 び 事 業 報 告

公益社団法人 神奈川県病院協会

目 次

2020年度概況

一般会務関係	1
事業関係	2

I 一般会務関係

1. 会員数に関する件	6
2. 役員等に関する件	8
3. 会議に関する件	10
4. 部内委員会に関する件	19
5. 部外審議会等に関する件	20
6. 総務・経理に関する件	24
7. 行政・政党・医療関係団体との意見交換・懇談に関する件	42
8. 褒賞等に関する件	42

II 事業関係

1. 総務経理・褒賞委員会	44
2. 地域保健医療対策委員会	45
2-1. 地域医療対策事業	46
3. 学術委員会	54
4. 教育研修委員会	55
5. 調査委員会	56
6. 保険医療対策委員会	56
6-1. 医事研究部会	57
7. 救急・防災対策委員会	57
8. 病院従事者対策委員会	58
9. 医療安全対策委員会	58
10. 広報委員会	59
11. 厚生福祉委員会	60
12. 病院経営対策委員会	61
13. 高齢者医療対策委員会	61
14. 精神保健対策委員会	62
15. 事務長部会	62
16. 看護職者賠償責任保険団体制度の運営	65

2020年度 一般会務関係 概況

会員について

- ・2021年3月31日の会員数 286 ※1（I1 会員数に関する件）
〔 経営主体内訳 ※2：国 8 公 33 社保関係 6 公益法人 7 医療法人 198 その他 34 〕
 - ※1 2021年3月31日付退会病院を含む
 - ※2 経営主体の区分は、厚生労働省 医療施設調査の開設者分類を参考としている
- ・組織率は約 85%

主な取り組み

- 1 総会の開催（I3 会議に関する件）
 - 第 96 回定時総会
審議事項・・2019 年度会務及び事業報告、2019 年度決算
 - 第 97 回総会
審議事項・・2020 年度後期会費（病床数割会費）減額、定款一部改正、
入会金及び会費規程一部改正、新江前会長弔慰金、
2021 年度事業計画案、2021 年度収支予算案 他
- 2 理事会等の開催（I3 会議に関する件）
 - 理事会 10 回（臨時理事会含む）・業務執行会議 15 回
- 3 部外審議会等の委員就任（I5 部外審議会等に関する件）
 - 行政及び関係団体所管の審議会、委員会等への推薦委員 延べ 125 名
- 4 要望活動・意見の提出（I6 総務・経理に関する件 他）
 - ・令和 3 年度の国と神奈川県の前算編成に対する要望
 - ・神奈川県の施策などに関する意見
 - ・新型コロナウイルス感染症への対応に係る診療報酬等に関する要望書
(内閣総理大臣及び厚生労働大臣 宛)
 - ・国内発生早期における新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院への
正当な評価と対応について（提案と要望）
(内閣総理大臣、厚生労働大臣及び総務大臣 宛)

2020年度 事業関係 概況

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画の実行が困難となり、多くの事業が延期または中止を余儀なくされた。

主な取り組み

I 公益目的事業

「地域医療の充実と、県民の医療・保健・福祉及び健康の増進を図る」という、当協会の目的達成のため、行政機関、関係団体と連携・協力し、事業を展開した。

1 公衆衛生及び地域医療の推進に関する事業

(1) 関係団体等との連携協力

① 医療関連通知・情報の提供

→ 県健康医療局、関東信越厚生局神奈川事務所（厚生労働省）他からの通知等を会員にホームページ、FAX等で周知（Ⅱ2 地域医療対策委員会 他）

② 国・県及び医療関係団体等との連携

→ 新型コロナウイルス対策会議 12回開催（Ⅱ2-1 地域医療対策事業）
（役員の他、地区病院協会、県医師会、県看護協会、県精神科病院協会、
県立病院機構、県健康医療局、県保健福祉事務所、横浜市等が出席）
→ 新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況緊急調査（Ⅱ2-1 地域医療対策事業）
（横浜市、川崎市、相模原市の地区病院協会と連名で実施。TV、新聞で報道）

③ 一般県民を対象とした講演会の開催

・県民公開講座（Ⅱ14 精神保健対策委員会）→ 中止

(2) 課題への対応

① 地域医療構想への対応（Ⅱ2-1 地域医療対策事業）

・病床機能分化・連携促進事業（神奈川県受託事業）

→ 目的：地域医療構想区域における病院等医療機関、医療関係者の連携等促進
支援対象：地区病院協会 支援限度額：上限50万円
事業総額 約212万円（受託料総額 257万円）※未執行分は県へ返還

② 医師確保に関する対応（Ⅱ2-1 地域医療対策事業）

- ・地域医療支援センター運営委員会事業への参画

③ 新専門医制度への対応（Ⅱ2-1 地域医療対策事業）

- ・県医療対策協議会 専門研修ワーキンググループへの参画

④ 新型コロナウイルス感染症への対応（Ⅱ2-1 地域医療対策事業）

ア 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催

イ 新型コロナウイルス対策会議の開催【再掲】

→ 第12回会議（2021年3月17日）は、ミニ・シンポジウムを開催
実地と配信（生配信及び録画配信）で実施

テーマ：コロナと闘った1年を振り返って ～今後に向けた課題～

内容：ダイヤモンド・プリンセス号及び国内発生早期からの対応、臨時
の医療施設、関連の宿泊施設などについて、最前線でコロナと
闘う先生方による発表とディスカッション

登壇者：座長 長堀副会長 / 演者 県医療危機対策本部 中森先生、

湘南鎌倉総合病院 篠崎院長、横浜市立市民病院 石原病院長

ウ 新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況緊急調査【再掲】

→ 調査依頼 2月28日（締切3月2日）、回答数194（67.8%）

結果は、神奈川県及び国（厚生労働省）、日本病院会等に情報提供

エ 国・県の施策に対する意見

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応に係る診療報酬等に関する要望書
- ・ コロナ感染症下における医療提供体制確保のための支援（予算要望）
- ・ 湘南西部病院協会による「回復期、慢性期、精神科病院、高齢者施設に
対する COVID-19 に対する感染対策教育指導の要望」の全県の実施
- ・ 院内感染の水際対策として実施する PCR 検査に関する要望書
- ・ 国内発生早期における新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院への
正当な評価と対応について
- ・ 横浜市病院協会の要望「コロナ陽性患者の入院管理を現在行っていない
病院において発生した陽性患者の入院管理の継続依頼」の全県の実施

オ 会員への周知・情報提供

→ ホームページで随時提供。必要に応じて F A X、DM 便送付による周知

2 病院医療の向上に関する事業

第 39 回神奈川県病院学会（Ⅱ3 学術委員会）、令和 2 年度医療安全推進セミナー
（Ⅱ9 医療安全対策委員会）→ 中止

Ⅱ 公益目的事業以外の事業

- ① 事務長等表彰事業〔会長表彰〕（Ⅱ1 総務経理・褒賞委員会）→ 2 名表彰
 - ② 会報誌の発行（Ⅱ10 広報委員会）→ 2021 年 3 月発行
 - ③ 事務長部会実施事業（Ⅱ15 事務長部会）
 - ・上半期調査（Ⅰ 民法改正に伴う極度額設定 Ⅱ 年次有給休暇の計画的付与）
 - ・下半期調査（Ⅰ コロナによる影響調査 Ⅱ 勤務時間、出勤、退勤時間の把握方法）
 - ・医業経営セミナー「コロナウイルスが病院に与える影響と対策」219 アクセス
 - ・講演会（後援）「地域医療構想の推進に向けた地域での医療データの活用」117 アクセス
（主催：大和・高座病院協会、厚木病院協会）
- ※病院管理研修（Ⅱ4 教育研修委員会）、診療報酬請求事務等に関する研修（Ⅱ6-1 医事研究部会）、スポーツ大会（Ⅱ11 厚生福祉委員会）は中止又は延期

Ⅲ 収益事業

① 看護職者賠償責任保険団体制度

2020 年 12 月 31 日現在の状況 ・ ・ 加入病院数 114 病院 / 加入者数 6,680 人

※2021 年から、横浜市病院協会の団体保険制度と統合

2021 年 3 月 31 日現在の状況 ・ ・ 加入病院数 175 病院 / 加入者数 9,477 人

I 一般会務関係

1 会員数に関する件

(1) 正会員

2020 年度の入会は 4、退会は 3 で、2021 年 3 月 31 日現在における正会員数は 286 である。

ア 入会 (①会員名 ②開設者 ③所在地 ④許可病床数 ⑤入会日)

・相州病院

(①黒岩 隆 ②医療法人社団青木末次郎記念会 ③厚木市上荻野 1682-3 ④263 床 ⑤2020 年 8 月 1 日)

・村田会湘南大庭病院

(①村田 尚彦 ②医療法人社団村田会 ③藤沢市大庭 5526-22 ④72 床 ⑤2020 年 9 月 1 日))

・神奈川病院

(①佐伯 隆史 ②医療法人誠心会 ③横浜市旭区川井本町 122-1 ④163 床 ⑤2020 年 9 月 1 日)

・秦野厚生病院

(①坂井 喜郎 ②医療法人社団厚仁会 ③秦野市南矢名 2-12-1 ④160 床 ⑤2020 年 10 月 1 日)

イ 退会

・野村病院 (2020 年 8 月 31 日付)

・東條ウィメンズホスピタル (2020 年 11 月 30 日付)

・横浜はじめ病院 (2021 年 3 月 31 日付)

(2) 賛助会員

2020 年度の入会は 0、退会は 4 で、令和 3 年 3 月 31 日現在における賛助会員数は 2 である。

(3) 正会員地区別内訳

地区別		病院数	正会員	郡市区内訳	病院数	正会員	郡市区内訳	病院数	正会員	郡市区内訳	病院数	正会員
横浜※	北部	52	44	鶴見区	14	14	神奈川区	10	9	港北区	7	4
				緑区	8	6	青葉区	10	8	都筑区	3	3
	西部	46	38	西区	4	4	保土ヶ谷区	6	6	旭区	13	10
				戸塚区	13	11	泉区	5	3	瀬谷区	5	4
	南部	34	29	中区	6	6	南区	4	4	港南区	11	7
				磯子区	4	4	金沢区	7	7	栄区	2	1
川崎北部		20	16	高津区	5	5	宮前区	4	4	多摩区	3	2
				麻生区	8	5						
川崎南部		19	18	川崎区	10	9	幸区	4	4	中原区	5	5
相模原		35	32	緑区	11	9	中央区	8	8	南区	16	15
横須賀・三浦		29	21	横須賀市	12	8	鎌倉市	12	9	逗子市	2	2
				三浦市	2	2	三浦郡	1	0			
湘南東部		24	22	藤沢市	15	14	茅ヶ崎市	7	6	高座郡	2	2
湘南西部		22	20	平塚市	9	9	秦野市	9	7	伊勢原市	3	3
				中郡	1	1						
県央		32	27	厚木市	12	10	大和市	9	6	海老名市	4	4
				座間市	4	4	綾瀬市	1	1	愛甲郡	2	2
県西		23	19	小田原市	13	10	南足柄市	2	2	足柄上郡	4	3
				足柄下郡	4	4						
合計		336	286	※ 横浜は医療圏が一つとなりましたが、従前どおりの地区に分けています。								

(4) 地区別経営主体別正会員数

経営主体※1 地区	国							公(公立及び公的医療機関)							社(社保 関係団体)			益	医	その他							計
	厚生労働省	独立行政法人国立病院機構	国立大学法人	独立行政法人労働者健康福祉機構	国立高度専門医療研究センター	独立行政法人地域医療機能推進機構	その他	都道府県	市町村	地方独立行政法人	人口	済生会	北海道社会事業協会	厚生連	国民健康保険団体連合会	健康保険組合及びその連合会	共済組合及びその連合会	国民健康保険組合	公益法人	医療法人	私立学校法人	社会福祉法人	医療協社	会社	その他の法人	個人	
横浜北部※2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	31	4	0	0	0	1	1	44
横浜西部※2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	27	1	2	1	0	2	0	38	
横浜南部※2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	0	2	0	0	0	2	0	2	15	0	0	0	0	0	0	29	
川崎北部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11	2	0	0	0	1	0	16	
川崎南部	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2	0	1	0	0	0	18	
相模原	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	22	1	1	1	0	0	2	32	
横須賀・三浦	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11	1	4	0	0	1	0	21	
湘南東部	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	2	0	22	
湘南西部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	13	2	0	0	0	0	0	20	
県央	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	27	
県西	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0	1	0	19	
合計	0	2	0	2	0	4	0	1	15	7	2	6	0	2	0	1	5	0	7	198	13	7	3	0	8	3	286

※1 経営主体の区分は厚生労働省 医療施設調査の開設者分類を参考とした ※2 横浜は従前どおりの地区区分とした

(5) 病床数別病院数

病床数	20～49	50～99	100～149	150～199	200～299	300～399	400以上
病院数	17	53	36	53	50	33	44

2 役員等に関する件

2020年4月1日から2021年3月31日までの当協会役員等は次のとおりである。

(1)役員等名簿

職 名	氏 名	施 設 名	〒	所在地	電話番号	備考
会 長	新江 良一	横浜鶴見リハビリテーション病院	230-0047	横浜市鶴見区下野谷町 4-145-1	045(503)2000	2021.1.1.逝去
※2021年1月1日の新江会長のご逝去に伴い、1月20日の第8回理事会において、吉田副会長が会長に選定された						
会 長	吉田 勝明	横浜相原病院	246-0026	横浜市瀬谷区阿久和南 2-3-12	045(362)7111	2021.1.20. 会長 就任
副会長	数野 隆人	藤沢脳神経外科病院	251-0032	藤沢市片瀬 2-15-36	0466(27)1511	
〃	窪倉 孝道	汐田総合病院	230-0001	横浜市鶴見区矢向 1-6-20	045(574)1011	
〃	長堀 薫	横須賀共済病院	238-8558	横須賀市米が浜通 1-16	046(822)2710	
常任理事	長倉 靖彦	横浜掖済会病院	231-0036	横浜市中区山田町 1-2	045(261)8191	
〃	沼田 裕一	横須賀市立うわまち病院	238-8567	横須賀市上町 2-36	046(823)2630	
〃	高野 靖悟	相模原協同病院	252-5188	相模原市緑区橋本台 4-3-1	042(761)6020	
〃	新納 憲司	大口東総合病院	221-0014	横浜市神奈川区入江 2-19-1	045(401)2411	
〃	松井 住仁	長田病院	233-0013	横浜市港南区丸山台 2-2-10	045(842)1121	
〃	南 康平	丹羽病院	250-0042	小田原市荻窪 406	0465(34)3444	
〃	小松 幹一郎	小松会病院	252-0325	相模原市南区新磯野 2337	042(744)6731	
〃	高原 和享	湘陽かしわ台病院	243-0402	海老名市柏ヶ谷 584-2	046(292)5800	
〃	松島 誠	松島病院	220-0041	横浜市西区戸部本町 19-11	045(321)7311	
〃	太田 史一	太田総合病院	210-0024	川崎市川崎区日進町 1-50	044(244)0131	
〃	三角 隆彦	済生会横浜市東部病院	230-0012	横浜市鶴見区下末吉 3-6-1	045(576)3000	
〃	菅 泰博	麻生総合病院	215-0021	川崎市麻生区上麻生 6-25-1	044(987)2522	
〃	篠原 裕希	クローバーホスピタル	261-0025	藤沢市鶴沼石上 3-3-6	0466(22)7111	
〃	鈴木 龍太	鶴巻温泉病院	257-0001	秦野市鶴巻北 1-16-1	0463(78)1311	
理 事	宮川 政久	宮川病院	210-0802	川崎市川崎区大師駅前 2-13-13	044(222)3255	
〃	角野 禎子	青木病院	249-0005	逗子市桜山 6-1336	046(873)6555	
〃	澤井 博司	青葉さわい病院	225-0004	横浜市青葉区元石川町 4300	045(901)0025	
〃	今井 重信	湘南中央病院	251-0056	藤沢市羽鳥 1-3-43	0466(36)8151	
〃	鳴海 裕之	寒川病院	253-0106	高座郡寒川町宮山 193	0467(75)6680	
〃	徳田 博正	徳田病院	230-0061	横浜市鶴見区佃野町 29-3	045(571)3933	
〃	土屋 敦	刈野辺総合病院	252-0206	相模原市中央区淵野辺 3-2-8	042(754)2222	
〃	平元 周	横浜総合病院	225-0025	横浜市青葉区鉄町 2201-	045(902)0001	

職 名	氏 名	施 設 名	〒	所在地	電話番号	備考
理 事	細川 治	横浜栄共済病院	247-8581	横浜市中区桂町 132	044(891)2171	
〃	内海 通	総合新川橋病院	210-0013	川崎市川崎区新川通 1-15	044(222)2111	
〃	山下 巖	東名厚木病院	243-8571	厚木市船子 232	046(229)1771	
〃	小澤 幸弘	三浦市立病院	238-0222	三浦市明陽町 4-33	046(882)2111	
〃	池島 秀明	湘南泉病院	245-0009	横浜市中区新橋町 1784	045(812)2288	
〃	石原 淳	横浜市民病院	221-0855	横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1	045(316)4580	2021.3.31. 退任
〃	金井 歳雄	川崎市立川崎病院	210-0013	川崎市川崎区新川通 12-1	044(233)5521	
〃	杉山 肇	神奈川県リハビリテーション病院	243-0121	厚木市七沢 516	046(249)2503	
〃	牧田 浩行	神奈川県立足柄上病院	258-0003	足柄上郡松田町松田惣領 866-1	0465(83)0351	
〃	井上 元保	伊勢原協同病院	259-1187	伊勢原市田中 345	0463(94)2111	
〃	高橋 寛	昭和大学藤が丘病院	227-8501	横浜市青葉区藤が丘 1-30	045(971)1151	
〃	中野 太郎	相模原中央病院	252-0236	相模原市中央区富士見 6-4-20	042(754)2211	
〃	山口 哲頭	港北病院	240-0053	横浜市保土ヶ谷区新井町 486	045(381)0180	
〃	山田 健一郎	平塚市民病院	254-0065	平塚市南原 1-19-1	0463(32)0015	
〃	山本 裕司	藤沢湘南台病院	252-0802	藤沢市高倉 2345	0466(44)1451	2021.3.31. 退任
監 事	荒井 政明	ワシン坂病院	231-0862	横浜市中区山手町 169	045(623)7688	
〃	小川 健二	日本鋼管病院	210-0852	川崎市川崎区鋼管通 1-2-1	044(333)5591	2021.3.31. 病院退任
〃	石渡 宏道	税理士法人アイ・パートナーズ	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央 2-13-18	045(503)2841	
顧 問	菊岡 正和	神奈川県医師会	231-0037	横浜市中区富士見町 3-1	045(241)7000	
〃	前田 光哉	神奈川県健康医療局	231-8588	横浜市中区日本大通 1	045(210)1111	
〃	近藤 脩	仁厚会病院	243-0018	厚木市中町 3-8-11	046(221)3330	
顧問兼参与	別所 隆	日本鋼管病院	210-0852	川崎市川崎区鋼管通 1-2-1	044(333)5591	
〃	遠山 慎一	横浜保土ヶ谷中央病院	240-8585	横浜市保土ヶ谷区釜台町 43-1	045(331)1251	
〃	玉井 拙夫	神奈川県予防医学協会	231-0021	横浜市中区日本大通 58	045(641)8501	
〃	永井 孝三	京浜総合病院	211-0044	川崎市中区新城 1-2-5	044(777)3251	
〃	仙賀 裕	茅ヶ崎市立病院・日本病院会	253-0042	茅ヶ崎市本村 5-15-1	0467(52)1111	
参 与	荒木 洋					

任期 2019年6月21日～2021年6月の定時総会終結時

(2)役員等の数(2021年3月31日現在)

会 長	副会長	常任理事	理事	監事	顧問	顧問兼参与	参与	合計
1	3	14	23	3	3	5	1	53

3 会議に関する件

(1) 総会

ア 第96回定時総会（議事録）

1 開催日時

2020年6月10日(水)午後4時

2 開催場所

神奈川県総合医療会館7階講堂

3 総正会員数 284名

4 出席正会員数 51名

委任状出席 153名

議決権総数 204名

5 出席役員

出席理事

宮川 政久（議長兼議事録作成者）

新江 良一 吉田 勝明 数野 隆人

窪倉 孝道 長堀 薫 長倉 靖彦

沼田 裕一 高野 靖悟 新納 憲司

松井 住仁 南 康平 小松幹一郎

高原 和享 松島 誠 太田 史一

三角 隆彦 菅 泰博 篠原 裕希

鈴木 龍太 角野 禎子 今井 重信

鳴海 裕之 土屋 敦 平元 周

細川 治 小澤 幸弘 池島 秀明

石原 淳 金井 歳雄 杉山 肇

牧田 浩行 井上 元保 高橋 寛

中野 太郎 山口 哲頭 山本 裕司

出席監事

荒井 政明 小川 健二 石渡 宏道

6 議事概要

開会

初めに、三角 隆彦 総務担当理事より開会を宣言。

続いて、新江 良一 代表理事から挨拶があった。

議長・副議長の選出

定款16条に基づき、出席した正会員の中から議長・副議長の選出にあたり、司会者より意見を求めたところ、全員の賛成に

より司会者に一任され、宮川 政久 氏が議長に、土屋 敦 氏が副議長に選出された。

総会の成立

続いて、議長・副議長より挨拶の後、議長より、本日の出席者の報告があり、正会員総数284名中、51名の出席、欠席正会員153名からは委任状が提出されており、議決権総数は204名のため、本会の定款17条に基づき、過半数に達し成立している旨報告した。

議事録署名人の選任

定款21条に基づき、出席した正会員の中から議事録署名人2名以上の選出にあたり、議長より意見を求めたところ、議事録署名人に角野 禎子 氏と池島 秀明 氏の2名が選任された。

審議事項

報告事項 2019年度会務及び事業報告の件

2019年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)における会務及び事業報告について、議長の指名により、三角隆彦総務担当常任理事が書類(2019年度会務及び事業報告)を詳細に報告した。

承認事項 第1号議案 2019年度決算の承認の件

2019年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)における決算について、議長の指名により、松島 誠 経理担当常任理事が書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録)を詳細に説明した。

続いて、議長の指名により、小川 健二 監事が事業報告及びその附属明細書及び計算書類並びに財産目録について監査の結果、理事の業務執行は適正に行われている旨説明した。

議長から、報告事項及び第1号議案につ

いて、会員からの発言を求めた。会員から発言はなく採決となる。

議長から、第1号議案について、その承認を挙手にて求め、また、委任状には否とするものはないことを確認した。その結果、過半数の賛成を得ることができ、承認可決した。

閉会

新江 良一代表理事から挨拶の後、三角 隆彦総務担当常任理事より閉会を宣言。

午後4時26分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、副議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

2020年6月10日

公益社団法人神奈川県病院協会定時総会

議長 宮川 政久

副議長 土屋 敦

議事録署名人 角野 禎子

議事録署名人 池島 秀明

イ 第97回総会（議事録）

1 開催日時

2021年3月17日(水)午後4時30分

2 開催場所

神奈川県総合医療会館7階講堂

横浜市中区富士見町3-1

3 総正会員数 286名

4 出席正会員数 36名

委任状出席 159名

議決権総数 195名

5 出席理事 宮川 政久(議長兼議事録作成者)

吉田 勝明 数野 隆人 窪倉 孝道

長堀 薫 長倉 靖彦 高野 靖悟

沼田 裕一 新納 憲司 松井 住仁

南 康平 小松幹一郎 高原 和享

松島 誠 太田 史一 三角 隆彦

菅 泰博 篠原 裕希 角野 禎子

澤井 博司 今井 重信 鳴海 裕之

土屋 敦 平元 周 細川 治

山下 巖 小澤 幸弘 池島 秀明

石原 淳 牧田 浩行 高橋 寛

中野 太郎 山口 哲顕

出席監事 石渡 宏道

6 議事概要

開会

初めに、三角 隆彦 総務担当理事より開会を宣言。続いて、吉田 勝明 代表理事から挨拶があった。

議長・副議長の選出

定款16条に基づき、出席した正会員の中から議長・副議長の選出にあたり、司会者より意見を求めたところ、全員の賛成により司会者に一任され、宮川 政久 氏が議長に、土屋 敦 氏が副議長に選出された。

総会の成立

続いて、議長・副議長より挨拶の後、議長より、本日の出席者の報告があり、正会員総数286名中、36名の出席、欠席正会員159名からは委任状が提出されており、議決権総数は195名のため、本会の定款17条に基づき、過半数に達し成立している旨報告した。

議事録署名人の選任

定款21条に基づき、出席した正会員の中から議事録署名人2名以上の選出にあたり、議長より意見を求めたところ、議事録署名人に角野 禎子 氏と池島 秀明 氏の2名が選任された。

審議事項

承認事項 第1号議案 2020年度後期会費（病床数割会費）減額の件

2020年度後期会費（病床数割会費）の減額について、議長の指名により、三角 隆

彦 総務担当理事が書類を詳細に説明した。

説明に続いて、議長から第1号議案について、会員からの発言を求めた。会員から発言はなく採決となる。

議長から第1号議案について、その承認を挙手にて求め、また、委任状には否とするものはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、これを原案のとおり承認可決した。

承認事項 第2号議案 定款の一部改正の件

定款の一部改正について、議長の指名により、三角 隆彦 総務担当理事が書類を詳細に説明した。

説明に続いて、議長から第2号議案について、会員からの発言を求めた。会員から発言はなく採決となる。

議長から第2号議案について、その承認を挙手にて求め、また、委任状には否とするものはないことを確認した。

その結果、三分の二の賛成を得ることができ、これを原案のとおり承認可決した。

承認事項 第3号議案 入会金及び会費規程の一部改正の件

入会金及び会費規程の一部改正について、議長の指名により、三角 隆彦 総務担当理事が書類を詳細に説明した。

説明に続いて、議長から第3号議案について、会員からの発言を求めた。会員から発言はなく採決となる。

議長から第3号議案について、その承認を挙手にて求め、また、委任状には否とするものはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、これを原案のとおり承認可決した。

承認事項 第4号議案 弔慰金の件

弔慰金について、議長の指名により三角 隆彦 総務担当理事が書類を詳細に説明した。

説明に続いて、議長から第4号議案について、

会員からの発言を求めた。会員から発言はなく採決となる。

議長から第4号議案について、その承認を挙手にて求め、また、委任状には否とするものはないことを確認した。その結果、過半数の賛成を得ることができ、これを原案のとおり承認可決した。

承認事項 第5号議案 2021年度事業計画案の件

2021年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）事業計画案について、議長の指名により、三角 隆彦 総務担当理事が書類を詳細に説明した。

説明に続いて、議長から第5号議案について、会員からの発言を求めた。会員から発言はなく採決となる。

議長から第5号議案について、その承認を挙手にて求め、また、委任状には否とするものはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、これを原案のとおり承認可決した。

承認事項 第6号議案 2021年度収支予算案の件

2021年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）収支予算案について、議長の指名により、松島 誠 経理担当理事が書類を詳細に説明した。

説明に続いて、議長から第6号議案について、会員からの発言を求めた。会員から発言はなく採決となる。

議長から第6号議案について、その承認を挙手にて求め、また、委任状には否とするものはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、これを原案のとおり承認可決した。

承認事項 第7号議案 2021年度資金調達及び設備投資の見込み案の件

2021年度（自2021年4月1日 至2022年3

月 31 日) 資金調達及び設備投資の見込み案について、議長の指名により、松島 誠 経理担当理事が書類を詳細に説明した。

説明に続いて、議長から第 7 号議案について、会員からの発言を求めた。会員から発言はなく採決となる。

議長から第 7 号議案について、その承認を挙手にて求め、また、委任状には否とするものはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、これを原案のとおり承認可決した。

吉田 勝明 代表理事から挨拶の後、三角 隆彦 総務担当理事より閉会を宣言。午後 5 時 12 分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、副議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

2021 年 3 月 17 日

公益社団法人神奈川県病院協会総会

議 長	宮川 政久
副 議 長	土屋 敦
議事録署名人	角野 禎子
議事録署名人	池島 秀明

(2) 理事会

ア 第 1 回理事会

休会

イ 第 2 回理事会

日 時 2020 年 5 月 20 日(水)午後 4 時

場 所 県総合医療会館 7 階講堂

出席理事 37 名

承認事項

(1) 理事の辞任について

(2) 神奈川県受託事業(「2020 年度病床機能分化・連携促進事業」及び「新型コロナウイルスにかかる支援対策事業」)について

(3) 公益社団法人神奈川県病院協会職員給与規

則の一部改正について

(4) 第 9 6 回定時総会の開催について

(5) 第 9 6 回定時総会の議案について

(2019 年度会務及び事業報告・2019 年度決算)

報告事項

(1) 行事予定(6 月・7 月)

(2) 会務報告

(3) 正会員の資格喪失について(梨本病院)

(4) 医療資材の寄付及び寄付者に対する感謝状の贈呈について

(5) 令和 3 年度(2021 年度)国・県予算の編成に際しての要望事項について

(6) 新型コロナウイルス感染症の患者の受入について(神奈川県精神科病院協会)

(7) 新型コロナウイルス感染症に関する病院経営影響度緊急調査について

報告事項(書面をもって報告)

・ 2019 年度調査(定期昇給等報告、医師と看護師のモデル年収調査)の結果

・ 神奈川県医師会地域保健対策委員会(第 6 回・第 7 回・第 8 回)

・ 前回理事会以降に開催された書面会議

① 令和元年度第 3 回神奈川県保健医療計画推進会議(3 月 9 日)

② 令和元年度第 2 回神奈川県医療審議会(3 月 24 日)

③ 令和元年度第 2 回神奈川県在宅医療推進協議会及び地域包括ケア会議

(4 月 2 日)

その他(情報提供)

・ 新型コロナウイルス感染症における診療体制に関する要望(日医・四病協)

・ 新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況緊急調査(速報)(日病・全日病・医法協)

ウ 第 3 回理事会

日 時 2020 年 7 月 1 日(水)午後 2 時 30 分

場 所 県総合医療会館 7 階講堂

出席理事 37 名

承認事項

- (1) 令和3年度国・県予算の編成に際しての要望案について
- (2) 地域医療介護総合確保促進法に基づく令和3年度神奈川県計画の策定(医療関係事業・介護従事者の確保等に関する事業)に向けた意見について
- (3) 第22回神奈川看護学会の後援について
- (4) 2020年度がん征圧月間運動の後援について
- (5) 神奈川新聞「2020年がん征圧キャンペーン」特集への協力(共催及び特集記事の広告掲載)について
- (6) 新型コロナウイルス感染症の抗体検査に関する研究について
- (7) 第3回常任理事会(7月15日)の休会について

報告事項

- (1) 行事予定(7月・8月)
- (2) 会務報告
- (3) 第9回県医師会地域保健対策委員会報告
- (4) 第6回県医師会在宅医療対策委員会報告
- その他
- ①2020年度上半期事務長部会アンケート調査
- ②一般市民の方からの寄付の受入について

エ 臨時理事会

日 時 2020年8月19日(水)午後4時30分
場 所 県総合医療会館7階講堂

出席理事 35名

承認事項

- (1) 正会員の入会について(相州病院)
- (2) 看護職者賠償責任保険 新たな団体保険制度について
- (3) 神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター研修会の共催について

報告事項

- (1) 令和2年度第1回神奈川県保健医療計画推進会議(書面会議)報告
- (2) 神奈川県医師会 第5回救急医療対策委員会報告

- (3) 地域医療介護総合確保促進法に基づく令和3年度県計画の策定に向けた意見の提出について
- (4) 第10回神奈川県医師会地域保健対策委員会報告
- (5) 令和3年度国・県への予算要望について(県直接要望、政党ヒアリング)

オ 第4回理事会

日 時 2020年9月2日(水)午後2時30分
場 所 県総合医療会館7階講堂

出席理事 37名

承認事項

- (1) 正会員の入会について(神奈川病院)(村田会湘南大庭病院)
- (2) 今年度後半の行事予定について
- (3) 地域医療構想講演会「みうら半島の明日を考える Part6」の後援について
- (4) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2020横浜の後援について
- (5) 令和2年度「かながわ献血キャンペーン」の後援について
- (6) 令和2年度グリーンリボンキャンペーンの後援について
- (7) 第34回神奈川母性衛生学会総会ならびに学術集会に伴う後援及び助成金の交付について
- (8) 第37回神奈川県理学療法士学会の後援について
- (9) 第3回神奈川県臨床工学会の後援について

報告事項

- (1) 行事予定(9月・10月)
- (2) 会務報告
- (3) 正会員の退会について(野村病院)
- (4) 賛助会員の退会について(医療法人社団 村田会、小笠原 勉、鈴木 清、島津 直也)
- (5) 正会員の異動等について
- (6) 定款及び役員選挙規程等の見直しの検討について
- (7) 神奈川県医師会 医事紛争特別委員会報告(9/1)

(8) 神奈川県医療対策協議会（書面会議）報告
情報交換

- ・令和2年度神奈川県保健医療計画推進会議及び地域医療構想調整会議等の当面の運営方針について
- ・各地区の状況（コロナ、地域医療構想調整会議等）について

神奈川県説明

- ① 神奈川県9月補正予算案について
- ② 新型コロナウイルス感染症医療体制「神奈川モデル」重点医療機関協力病院の認定基準に係る運用方針について
- ③ 地域医療構想における公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等の期限について
- ④ 神奈川県コンサルティング事業のご案内（「病床機能転換支援事業」及び「地域医療連携推進業務支援事業」）

その他

新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その26）

カ 第5回理事会

日時 2020年10月7日(水)午後2時30分

場所 県総合医療会館7階講堂

出席理事 39名

承認事項

- (1) 正会員の入会について（秦野厚生病院）
- (2) 日本医療マネジメント学会 第20回神奈川支部学術集会后援について
- (3) 第1回ジャパンメディカルリーグ軟式野球大会神奈川大会の共催について
- (4) 第6回常任理事会（10月21日）の休会について

報告事項

- (1) 行事予定（10月・11月）
- (2) 会務報告
- (3) 国内発生早期における新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院への正当な評価と対応について（提案と要望）の国への提出について

(4) 神奈川県医師会 医事紛争特別委員会報告（10/6）

(5) 国及び神奈川県への令和3年度予算要望に対する回答送付について

(6) 令和2年度第2回神奈川県保健医療計画推進会議報告

(7) 令和2年度神奈川県在宅医療トレーニングセンター研修会報告

(8) 第11回神奈川県医師会地域保健対策委員会報告

(9) 第3回神奈川県医師会災害救助対策委員会報告

(10) 第6回神奈川県医師会救急医療対策委員会報告

(11) 未病改善のためのオーラルフレイル対応型指導者育成事業第1回検討委員会報告

(12) 事務長部会 2020年度上半期アンケート調査の結果について

・調査Ⅰ 民法改正に伴う極度額設定方法

・調査Ⅱ 年次有給休暇の計画的付与方法

キ 第6回理事会

日時 2020年11月4日(水)午後2時30分

場所 県総合医療会館7階講堂

出席理事 33名

承認事項

(1) 第7回常任理事会（12月2日）の休会について

報告事項

- (1) 行事予定（11月・12月）
- (2) 会務報告
- (3) 令和2年度第1回神奈川県医療審議会（書面会議）報告
- (4) 2020年度神奈川県病院協会事務長等表彰候補者の推薦について
- (5) 第1回神奈川県医師会医師臨床研修制度対策委員会報告
- (6) 第12回神奈川県医師会地域保健対策委員会報告
- (7) 第7回神奈川県医師会在宅医療対策委員会報告

協議事項

- (1) 定款及び諸規程・諸規則の改正について
(兼総務委員会報告)
- (2) 県医療計画の中間見直しにおける基準病床数の見直し検討について
- その他
 - ・看護職賠償責任保険 新たな団体保険制度について (ご案内)

ク 第7回理事会

- 日 時 2020年12月16日(水) 午後4時
場 所 県総合医療会館7階講堂
出席理事 34名
承認事項
- (1) 2020年度後期会費の特別減額について
 - (2) 公益社団法人神奈川県病院協会職員給与規則の一部改正について
 - (3) 2021年度介護報酬改定に伴う説明会の開催について
 - (4) 第40回神奈川県病院学会の開催について
 - (5) ねんりんピックかながわ2022実行委員会宿泊・輸送等専門委員会委員推薦について
 - (6) 令和2年度介護保険主治医意見書記載方法等研修会の共催並びに講師について
 - (7) ピンクシャツデー2021in 神奈川の後援について
 - (8) 第19回人工呼吸器セミナーの後援について

報告事項

- (1) 正会員の退会について (東條ウイメンズホスピタル)
- (2) 神奈川県医療対策協議会報告
- (3) 2020年度第1回高齢者医療対策委員会(書面会議) 報告
- (4) 2020年度第1回学術委員会(書面開催) 報告
- (5) 神奈川県地域医療支援センター運営委員会報告
- (6) 神奈川県薬剤師会令和2年度医薬品適正使用検討委員会報告

ケ 第8回理事会

- 日 時 2021年1月20日(水) 午後4時22分
場所 県総合医療会館7階講堂
出席理事 33名
承認事項
- (1) 会長の選定について
 - (2) 役員事業分担について
 - (3) 外部委員会委員の変更について
 - (4) 弔慰金について
 - (5) 規程・規則等の改正について

- 1 役員選挙規程
- 2 選挙要領
- 3 業務執行理事職務権限規程
- 4 運営規程
- 5 経理規程
- 6 役員等旅費規程
- 7 文書管理取扱規則
- 8 就業規則

- (6) 次期役員選挙に伴う選挙管理委員会委員の推薦の考え方について
- (7) 2021年度の総会・理事会等の開催日程について
- (8) 第16回がん克服シンポジウムの負担金納入について
- (9) 2020年度医療福祉講座に伴う共催と経費の援助について

報告事項

- (1) 行事予定(1月・2月)
- (2) 会務報告
- (3) 神奈川県保健医療計画(素案)に係る意見提出について
- (4) 地域医療介護総合確保基金の活用に関する要望について
- (5) 神奈川県高齢者救急ワーキンググループ及び神奈川県高齢者救急連絡調整会議合同会議(書面会議) 報告
- (6) 2020年度医業経営セミナー報告

その他

- ・今年度の会議 開催日程について

コ 第9回理事会

日 時 2021 年 3 月 3 日(水)午後 2 時 35 分

場 所 県総合医療会館 7 階講堂

出席理事 31 名

神奈川県説明

病床確保のフェーズについて

～即応病床数にかかる地域調整会議の

開催 (除く 3 政令市) ～

承認事項

(1) 役員の辞任について

(2) 第 9 7 回総会の開催について

(3) 第 9 7 回総会の議案について

(第 1 号議案～第 4 号議案は、第 7 回及び
第 8 回理事会において承認済)

①第 5 号議案 2021 年度事業計画案

②第 6 号議案 2021 年度収支予算案

③第 7 号議案 2021 年度資金調達及び設
備投資の見込み案

(4) 2021 年役員選挙 選挙管理委員会
委員について

(5) 2021 年役員選挙 全県役員(理事及
び監事)の取扱い案について

(6) 神奈川県外国人医療推進検討会議の委員
推薦について

(7) 神奈川県地方独立行政法人神奈川県立
病院機構評価委員会委員の推薦について

(8) 令和 3 年度理学療法講習会の後援について

(9) 第 1 2 回新型コロナウイルス対策会議の
開催案について

(10) 事務局長の定年延長について

報告事項

(1) 行事予定 (3 月・4 月)

(2) 会務報告

(3) 第 3 回神奈川県医師会医療従事者確保対
策委員会報告

(4) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告
(1/5・2/2・3/2)

(5) 2020 年度調査の実施について (調査委員
会報告)

(6) 県医師会主催: 介護保険「主治医意見書
記載方法等」研修会報告

(7) 2020 年度事務長等表彰の被表彰者に

ついて (総務経理・褒賞委員会報告)

(8) 2020 年度第 2 回学術委員会報告

(9) 神奈川県感染症対策協議会報告

(2/16 第 8 回・2/26 第 9 回)

(10) 令和 2 年度第 3 回神奈川県保健医療計
画推進会議報告

(11) 第 1 5 回神奈川県医師会地域保健対策
委員会報告

(12) 第 9 回神奈川県医師会在宅医療対策委
員会報告

その他

・2021 年度介護報酬改定説明会について

・新型コロナウイルス禍における医療従事
者のこころのケアについて

・新型コロナウイルス感染拡大による病院
経営状況の調査 (2020 年度第 3 四半期)

(4) 三役会議 (2021. 2. 3. より業務執行会議)

会議の構成

会長及び業務執行理事 (副会長及び総務
担当常任理事、経理担当常任理事)

開催日時

①2020 年 4 月 1 日(水)午後 2 時

②2020 年 5 月 20 日(水)午後 1 時 15 分

③2020 年 6 月 10 日(水)午後 3 時 30 分

④2020 年 7 月 1 日(水)午後 2 時 30 分

⑤2020 年 9 月 2 日(水)午後 2 時

⑥2020 年 9 月 16 日(水)午後 2 時

⑦2020 年 10 月 7 日(水)午後 2 時

⑧2020 年 11 月 4 日(水)午後 2 時

⑨2020 年 12 月 16 日(水)午後 2 時

⑩2021 年 1 月 6 日 (水) 午後 2 時 30 分

⑪2021 年 1 月 20 日(水)午後 2 時

⑫2021 年 2 月 3 日(水)午後 2 時 30 分

⑬2021 年 2 月 17 日(水)午後 2 時

⑭2021 年 3 月 3 日(水)午後 2 時

⑮2021 年 3 月 17 日(水)午後 2 時

場 所

神奈川県病院協会会議室

議 題

理事会議題のほか、効率的・効果的な業務

執行を図るための協議等

(5) 新型コロナウイルス感染症対策本部会議

会議の構成

会長、業務執行理事（副会長及び総務担当
常任理事、経理担当常任理事）、長倉常任理事

開催状況

①第3回会議（2020年4月15日 書面会議）

議題 第2回常任理事会について
第96回定時総会について

②第4回会議（2020年4月16日 書面会議）

議題 事務局職員の退勤時間

③第5回会議（2020年4月28日 書面会議）

議題 常任理事会の休会

監査・理事会等の開催

三役会議・定時総会等の開催

④第6回会議（2020年5月21日 書面会議）

議題 第39回神奈川県病院学会について

⑤第7回会議（2020年5月28日 書面会議）

議題 第4回新型コロナウイルス対策会議
の議題について

⑥第8回会議（2021年2月3日 午後2時）

議題 コロナ対策に関すること 他

(6) 総務委員会

委員会の構成

委員長（担当副会長）窪倉 孝道

委員（総務経理担当常任理事）

三角 隆彦、松島 誠、小松幹一郎、

菅 泰博、長倉 靖彦

開催状況

①第1回総務委員会

日時 2020年10月7日（水）午後4時

場所 神奈川県病院協会会議室

議題

- 1 全県梓理事について（役員選挙規程）
- 2 2021年役員改選について
- 3 賛助会員の位置づけの明確化と拡大
について（定款、会費規程）
- 4 総会について（定款）

②第2回総務委員会

日時 2021年3月3日（水）午後4時

場所 神奈川県病院協会会議室

- 議題
- 1 2021年役員改選について
 - 2 その他

(7) 選挙管理委員会

委員会の構成

委員長 邊見 仁 川崎田園都市病院長

副委員長 増田 直樹 清川遠寿病院理事長

委員 佐藤 克之 佐藤病院理事長

望月 孝俊 茅ヶ崎市立病院長

杉田 輝地 山近記念総合病院理事長

開催状況

第1回選挙管理委員会

（書面審議 2021年3月15日付）

審議事項 2021年役員選挙について

- 1 委員長・副委員長の選出
- 2 選挙日程
- 3 公示
- 4 投票及び開票
- 5 選挙管理及び当選人決定に関する
理事会への報告
- 6 第2回選挙管理委員会について

4 部内委員会に関する件

2020年4月1日から2021年3月31日までの委員会構成は次のとおりである。

2021年3月31日現在

委員会名 (主な事業区分)	委員長 副会長	委員		事業委員	
		常任理事	理事	幹事	
1 総務経理・褒賞 (法人会計)	窪倉 孝道	(総務) ○ 三角 隆彦 ○ 小松幹一郎 長倉 靖彦 (経理) ○ 松島 誠 菅 泰博	平元 周 細川 治 内海 通	中村 基樹	北川 剛
2 地域保健医療対策 (公益目的事業 公1)	窪倉 孝道	(急性期) ○ 三角 隆彦 太田 史一 (慢性期) ○ 小松幹一郎 篠原 裕希 (公衆衛生) ○ 長倉 靖彦 (地域包括ケア) ○ 篠原 裕希 鈴木 龍太	澤井 博司 小澤 幸弘	伊藤 正行	花岡 伸
3 学術 (公益目的事業 公2)	長堀 薫	○ 高野 靖悟 沼田 裕一 三角 隆彦 菅 泰博	小澤 幸弘 牧田 浩行 山田健一朗	荒木 洋	玉井 拙夫 本間 明 大嶋 一郎 毛利 元和 他関係団体
4 教育研修 (収益事業等 他1)	長堀 薫	○ 菅 泰博	金井 歳雄	荒木 洋	山田 修 岡野 秀行 鈴木 通 丘 真樹
5 調査 (収益事業等 他1)	数野 隆人	○ 新納 憲司	井上 元保 中野 太郎	伊藤 稔	松本 進
6 保険医療対策 (収益事業等 他1)	数野 隆人	○ 沼田 裕一 高原 和享	土屋 敦	持丸 幸一	武田 匡弘 有泉 義一 秋山 貴志
7 救急・防災対策 (公益目的事業 公1)	(吉田 勝明)	沼田 裕一 南 康平	山下 巖 石原 淳 山本 裕司	江原 正恭	小林 章利 折登 剛 横溝 勝明
8 病院従事者対策 (公益目的事業 公2)	長堀 薫	○ 高原 和享 高野 靖悟 松島 誠	高橋 寛	畑 宏明	中村 基樹
9 医療安全対策 (公益目的事業 公2)	(吉田 勝明)	○ 松井 住仁		江原 正恭	濱田 和也 酒井 篤史
10 広報 (収益事業等 他2)	長堀 薫	○ 太田 史一	鳴海 裕之 徳田 博正	平林 広康	高野 昇平 武田 朋久
11 厚生福祉 (収益事業等 他2)	(吉田 勝明)	○ 松島 誠	宮川 政久 池島 秀明	横山 伸泰	川原 哲司 中村 基樹
12 病院経営対策 (収益事業等 他1)	数野 隆人	○ 南 康平 新納 憲司	今井 重信	鈴木 通	
13 高齢者医療対策 (公益目的事業 公1)	数野 隆人	○ 鈴木 龍太 松井 住仁	角野 禎子 杉山 肇	石川 達也	玉木 和彦 花岡 伸 田村 一浩
14 精神保健対策 (公益目的事業 公1)	(吉田 勝明)	○ 菅 泰博	山口 哲顕	酒井 篤史	山田 修 奈良 孝一

※常任理事の○印は主担当 任期:2019年6月19日～2021年6月の定時総会終結時

5 部外審議会等に関する件

当協会が推薦した審議会・協議会・委員会の委員等は次のとおりである。(2021. 3. 31. 現在)

(1) 神奈川県

医療審議会委員	吉田 勝明
同 医療法人部会委員	吉田 勝明
医療対策協議会委員	吉田 勝明
同 専門研修プログラム調整ワーキンググループ委員	窪倉 孝道
地域医療支援センター運営委員会委員	窪倉 孝道
保健医療計画推進会議委員	窪倉 孝道
地域医療連携ネットワーク構築検討会議委員	三角 隆彦
地域医療構想調整会議委員	
横浜地域	窪倉 孝道
川崎地域	菅 泰博
相模原地域	西 八嗣
保健医療福祉推進会議委員	
三浦半島地区	長堀 薫
湘南東部地区	数野 隆人
湘南西部地区	鈴木 龍太
県央地区	高原 和享
県西地区	南 康平
在宅医療推進協議会委員	窪倉 孝道
地域包括ケア会議委員	窪倉 孝道
医療費検討委員会委員	吉田 勝明
周産期医療協議会委員	沼田 裕一
医療安全推進協議会委員	吉田 勝明
認知症対策推進協議会委員	吉田 勝明
アレルギー疾患対策専門家検討会委員	吉田 勝明
アレルギー疾患医療拠点病院選定部会委員	吉田 勝明
エイズ対策推進協議会委員	吉田 勝明
難病対策協議会委員	鈴木 龍太
献血推進協議会委員	太田 史一
感染症対策協議会委員	小松幹一郎
新型インフルエンザ専門委員会委員	小松幹一郎
後発医薬品使用促進協議会委員	小松幹一郎
生活習慣病対策委員会委員	沼田 裕一
同 がん・循環器病対策部会委員	高野 靖悟

がん対策推進協議会委員	三角 隆彦
リハビリテーション協議会委員	高野 靖悟
リハビリテーション協議会連携指針検討部会委員	高野 靖悟
外国人医療推進検討会議	
救急医療問題調査会委員	三角 隆彦, 佐藤 道夫
同 プレホスピタルケア・二次・三次救急部会委員	吉田 勝明
	吉田 勝明, 菅 泰博
	山本 裕司
同 プレホスピタルケア・二次・三次救急部会高齢者救急検討ワーキンググループ委員	菅 泰博
	細川 治, 山本 裕司
同 プレホスピタルケア・二次・三次救急部会救命救急センター新整備指針検討ワーキンググループ委員	菅 泰博, 山本 裕司
同 小児救急部会委員	菅 泰博
精神科救急医療調整会議委員	吉田 勝明
高齢者救急連絡調整会議委員	細川 治
ドクターヘリ連絡調整会議委員	高野 靖悟
メディカルコントロール協議会委員	数野 隆人
同 検討部会委員	数野 隆人
救急医療情報システム検討会委員	三角 隆彦
救急搬送受入協議会委員	吉田 勝明
	長堀 薫, 菅 泰博
同 作業部会委員	菅 泰博
災害医療対策会議委員	三角 隆彦
同 医療救護体制部会委員	三角 隆彦
同 医療活動部会委員	三角 隆彦
同 人材育成部会委員	三角 隆彦
同 〆スティック部会委員	三角 隆彦
医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議委員	高原 和享
看護賞選考委員会委員	吉田 勝明
看護職員資質向上推進委員会委員	高原 和享
訪問看護推進協議会委員	高原 和享
未就業看護職員の再就業促進委員会委員	高原 和享
准看護師試験委員会委員	高原 和享
医療通訳派遣システム運営協議会委員	高野 靖悟

県立病院機構評価委員会委員 池島 秀明
 県立こども医療センター地域医療支援
 事業運営委員会委員 山田 健一朗
 県立循環器呼吸器病センター地域医療
 支援事業運営委員会委員 沼田 裕一
 県立保健福祉大学教育研究審議会委員
 長堀 薫
 障害者差別解消支援地域協議会委員
 太田 史一
 福祉の街づくり推進協議会委員
 高原 和享
 かながわ地球環境保全推進会議委員
 南 康平
 ねんりんピックかながわ 2022 実行委員会
 宿泊・輸送等専門委員会委員 杉山 肇

(2) 神奈川県医師会

褒賞特別委員会委員 吉田 勝明
 医師臨床研修制度対策委員会委員
 窪倉 孝道, 高橋 寛
 山下 巖
 勤務医部会幹事 新納 憲司
 救急医療対策委員会委員
 吉田 勝明, 菅 泰博
 災害救助対策委員会委員
 数野 隆人, 三角 隆彦
 救命情報システム運営委員会委員
 吉田 勝明, 新納 憲司
 地域保健対策委員会委員 窪倉 孝道
 太田 史一, 長倉 靖彦
 在宅医療対策委員会委員
 窪倉 孝道, 小澤 幸弘
 医療従事者確保対策委員会委員
 吉田 勝明
 医事紛争特別委員会委員 吉田 勝明
 病院診療所対策委員会委員 太田 史一
 自浄作用特別委員会委員 吉田 勝明
 医療事故調査支援委員会委員
 吉田 勝明, 窪倉 孝道
 三角 隆彦

(3) 関係団体等

救急医療中央情報センター運営協議会委員
 吉田 勝明, 数野 隆人
 救急医療中央情報センター運営協議会
 小委員会委員 数野 隆人
 神奈川県総合医療会館管理委員会委員
 松島 誠, 菅 泰博
 神奈川県公衆衛生協会理事 吉田 勝明

神奈川県済生会理事 吉田 勝明
 かながわ健康財団理事 吉田 勝明
 同 腎・アイバンク推進会 吉田 勝明
 同 がん対策推進会議委員
 新納 憲司
 同 がん克服シンポジウム実行委員会
 委員 新納 憲司
 日本赤十字社神奈川県支部評議員
 吉田 勝明
 スモークフリー推進かながわ基金運営
 委員会委員 吉田 勝明
 医療安全対策事業実行委員会委員
 吉田 勝明
 機能評価事業推進会議委員 吉田 勝明
 同 副委員 窪倉 孝道
 医薬品適正使用検討委員会委員
 池島 秀明
 神奈川県透析施設連絡協議会常任理事
 沼田 裕一
 同 理事 太田 史一
 神奈川県ナースセンター事業運営委員会
 委員 高原 和享
 神奈川県看護職員確保対策連絡協議会
 委員 高原 和享
 神奈川県ドクターヘリ運行調整委員会
 委員 高野 靖悟
 神奈川県エイズ治療拠点病院等連絡
 協議会運営委員会委員 吉田 勝明
 がん診療医科歯科連携検討委員会委員
 新納 憲司
 未病改善のためのオーラルフレイル
 対応型指導者育成事業検討委員会委員
 池島 秀明
 神奈川県在宅歯科医療連携拠点運営
 事業推進協議会委員 南 康平

参考

会員・役員が就任した当協会以外の役員・委員は以下のとおりである。(2021. 3. 31. 現在)
※当協会の推薦によらないもの。掲載団体は第 218 回全理事会承認 (H16. 3. 3.)
※各団体が発行する名簿などで確認

(1) 日本医師会

代議員 澤井 博司

(2) 日本病院会

副会長 仙賀 裕
理事 中 佳一, 高野 靖悟
代議員 三角 隆彦, 小澤 幸弘
別所 隆, 松島 誠
土屋 敦

(3) 全日本病院協会

常任理事 山本 登

(4) 日本医療法人協会

理事 新納 憲司, 宮川 政久

(5) 日本精神科病院協会

理事 大野 史郎
代議員 武田龍太郎, 山口 哲頭
坂井 喜郎, 長谷川 剛

(6) 神奈川県医師会

理事 篠原 裕希, 小松幹一郎
田村 哲郎
代議員 菅 泰博, 宮川 政久
沼田 裕一, 土屋 敦
後藤 隆久, 新納 憲司
朝倉 昌人, 秋山 武仁
松島 誠, 山口 哲頭
監事 澤井 博司

(7) 郡市医師会

(横浜市医師会)
理事 後藤 隆久, 三角 隆彦
(青葉区医師会)
監事 平元 周
顧問 澤井 博司
(泉区医師会)
副会長 池島 秀明
(神奈川区医師会)
常任理事 新納 憲司
同 理事 長島 敦

(港南区医師会)

副会長 朝倉 昌人
監事 秋山 武仁

(瀬谷区医師会)

監事 吉田 勝明, 大友 正孝
(大学区医師会)

会長 後藤 隆久

(都筑区医師会)

副会長 門倉 光隆

(鶴見区医師会)

副会長 佐々木啓吾
理事 三角 隆彦, 増田 益功

(保土ヶ谷区医師会)

常任理事 石原 淳
理事 林 泰広, 池 秀之
監事 山口 哲頭

(緑区医師会)

副会長 荒井ゆかり

(川崎市医師会)

理事 菅 泰博, 太田 史一
(聖マリアンナ医科大学医師会)

副会長 大坪 毅人, 宮島 伸宜
長島 悟郎

(横須賀市医師会)

理事 沼田 裕一
監事 岡村隆一郎

(平塚市医師会)

監事 山田健一朗
副議長 稲瀬 直彦

(茅ヶ崎医師会)

理事 長岡 健介

(座間綾瀬医師会)

理事 山上 達也
副議長 中川 正行

(藤沢市医師会)

理事 木原 明子, 村田 尚彦
(秦野伊勢原医師会)

議長 田中 克明

(足柄上医師会)

理事 大内 英樹, 牧田 浩行
(厚木医師会)

理事 長谷川 節

(逗葉医師会)

監事・顧問 角野 禎子

(相模原市医師会)

監事 土屋 敦
顧問 黒河内三郎

(大和市医師会)

理事 木山 智

(三浦市医師会)

副会長	小澤 幸弘
議長	高屋 淳彦

(中郡医師会)

理事	島田 英雄
----	-------

(海老名市医師会)

理事	服部 智任
----	-------

(8) 地区病院協会

(横浜市病院協会)

会長	新納 憲司
副会長	松井 住仁, 平元 周
	松島 誠, 細川 治
常任理事	吉田 勝明, 窪倉 孝道
	三角 隆彦, 山口 哲顕
	池島 秀明, 藤井 芳明
	鈴木 宏昌
理事	朝倉 昌人, 石原 淳
	安藤 暢敏, 高橋 寛
	長島 敦, 富田 祐司
	長岡 章平, 齋藤 知行
	伊藤 宏, 竹林 茂生
	國場 幸均

監事	門倉 光隆
----	-------

(川崎市病院協会)

会長	内海 通
副会長	方波見 剛, 邊見 仁
理事	加藤 信夫, 太田 史一
	川田 忠典, 菅 泰博
	渡邊 嘉行, 小川 健二
	宮川 政久

監事	宮川 政久
----	-------

(相模原市病院協会)

会長	土屋 敦
副会長	小松幹一郎
理事	丘 松壽, 清水 直史
	金田 悟郎, 中野 太郎
	廣瀬 憲一, 松本 豊
	岩村 正嗣, 西 八嗣
	今泉 弘

監事	世良田和幸
顧問	中野 重徳, 高野 靖悟

名誉会長	黒河内三郎
------	-------

(鎌倉市医師会病院会)

会長	三松 興道
監査委員	清川まどか

(三浦半島病院会)

会長	長堀 薫
副会長	沼田 裕一

(湘南病院協会)

会長	今井 重信
副会長	木原 明子, 鳴海 裕之
	望月 孝俊

監事	松野 正孝
顧問	数野 隆人

(湘南西部病院協会)

会長	鈴木 龍太
副会長	田邊 享史, 稲瀬 直彦

(厚木病院協会)

会長	山下 巖
副会長	近藤 勉
監事	佐藤 一守

(大和・高座病院協会)

会長	高原 和享
副会長	島崎 猛

(小田原医師会病院会)

会長	小林 泉
----	------

(足柄上病院会)

代表	牧田 浩行
----	-------

(9) 神奈川県医療従事者健康保険組合

常務理事	澤井 博司
理事	黒河内三郎, 小林 泉
	数野 隆人, 南 康平
	土屋 敦, 松井 住仁
	松島 誠

監事	杉田 輝地, 窪倉 孝道
議員	宮川 政久, 佐藤 克之
	徳田 博正, 新納 憲司
	篠原 裕希, 高原 和享
	池島 秀明, 菅 泰博

6 総務・経理に関する件

(1) 主務官庁への届出等

- ア 就任・退任した理事の届出 2020年6月15日
- イ 2019年度事業報告並びに決算書の届出 2020年6月30日
- ウ 会長交代の届出 2021年2月3日
- エ 2021年度事業計画並びに予算書の届出 2021年3月18日

(2) 経理に関する件

- ア 監事監査 2020年5月20日(水)実施
- イ 2019年度決算 2020年6月10日(水)開催の第96回定時総会において承認可決
- ウ 2021年度予算 2021年3月17日(水)開催の第97回総会において承認可決

(3) 国及び神奈川県予算編成に際しての要望

- ア 令和3年度国及び神奈川県予算の編成に際しての要望(神病協発第180号 2020年7月16日他)
 - ・厚生労働大臣、財務大臣、県知事、各党派議団に要望書を提出するとともに陳情した。

はじめに

今回の要望では、来年度予算編成関係だけではなく、現下の状況に鑑み、新型コロナウイルス感染症への対応に関連して、医療崩壊を防ぐために病院の経営を安定化させる必要があるとの観点から緊急要望を加えている。

なお、神奈川県内の病院は、国内感染期の前、2月上旬からダイヤモンド・プリンセス号への対応を余儀なくされており、40近い病院が200人以上の患者に対応してきた経緯がある。一部の病院とはいえ、こうしたコロナへの対応については、DPCのさらなる加算項目などについて、一定の評価を求めたい。

また、新型コロナウイルス感染症が社会に大きなインパクトをもたらしている現在、従前から継続して要望してきた事項のいくつかは、その前提となっている状況が大きく変化している。このため、課題として、なお存在しているが、解決の方向性については、改めて今後の変化を見たいうえで、再構築する必要があるなど、内容をさらに検討した方が適切と思われる次の事項について、今回は、要望項目から割愛した。

- 1 医師の働き方改革(国)
(特に副業・兼業の労働時間の扱いが地域医療に大きな影響をもたらすこと)
- 2 医療ツーリズムの健全な発展と地域医療の確保(国・県)
(基準病床制度にかかる医療法の不備)
- 3 病院に勤務する看護補助者の処遇改善に係る診療報酬上の加算制度の創設(国・県)
(介護保険事業と医療保険事業のギャップの存在)
- 4 地域で働く医師(地域枠医師)の養成・確保(県)
(地域枠医師を支える県医局機能を整備する必要があること)

○国に対する要望

(ア) コロナ感染症下における医療提供体制確保のための支援について（厚生労働省・財務省）

要望内容（新規）

各病院はコロナ患者の受入の有無にかかわらず、感染防止の取組や発熱患者への対応等に多額の費用を必要としています。その一方で受診控えなど個々の病院の責任に期せない損失によって患者数は顕著に減少しており、このままの状況では病院経営が立ちゆきません。

診療報酬上の様々な配慮や、2020年6月の第2次補正予算での医療体制支援の交付金拡充があったものの、減収補填は盛り込まれず、大きな穴が開いたままとなっており、全ての病院にとって十分とは言えません。

コロナ感染症下において、医療提供体制を確保するため、以下4点を中心とした一層の支援を要望します。（1～4は、四病院団体協議会「令和3年度予算概算要求に関する要望（※3）」の「新型コロナウイルス感染症対策関連」と同項目。順は異なる。）

- 1 医療機関の経営破綻の防止
- 2 医療従事者への感染リスクへの対応
- 3 緊急時の感染症対策基金等の創設
- 4 感染防護用品、衛生用品等の確保

要望の趣旨

当県はダイヤモンド・プリンセス号の対応のため、早期から多くの病院が最前線に立って戦っています。

県内の病院協会が協同して経営状況を緊急調査（※2）した結果、外来・入院ともに患者は大幅に減少し、2020年4月の医業利益率は-15.2%となりました。一方で、人件費は増加しており、全国の状況と比較しても当県の経営状況は著しく悪化しています。

当協会はこの結果に基づき、県民への医療提供体制を継続するため、内閣総理大臣および厚生労働大臣に要望（※1）いたしました。この要望は、緊急に対応を求める事項ですが、来年度においても、必要な事項への対応を要望します。

終息は見通せず、第二波、第三波の襲来にも備えなければなりません。感染拡大による医療崩壊の危機を乗り越えるための予算措置をお願いします。

参考

※1 新型コロナウイルス感染症への対応に係る診療報酬等に関する要望書（2020年6月15日）

※2 神奈川県新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況緊急調査 速報最終版
一部抜粋（2020年6月15日）

※3 令和3年度予算概算要求に関する要望 一部抜粋（四病院団体協議会 2020年6月5日）

(イ) 地域医療介護総合確保基金の抜本的な見直しについて（財務省・厚生労働省）

要望内容（一部新規）

地域医療介護総合確保基金は、地域医療構想の実現に向け、特に病院の再編・統合に優先して配分されています。

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染症患者及び疑似症患者を受け入れる病床

が不足した事態などを踏まえ、地域医療構想における病床機能再編の議論は、一部見直す必要が生じています。

併せて、地域医療介護総合確保基金についても、抜本的な見直しが必要です。

これまでも主張してきたとおり、当県への基金の配分が全国2位の人口規模に応じた額となるよう、次の事項を要望します。

- 1 全国一律に、ハード中心の事業区分1に重点・傾斜配分するのではなく、地域医療の実情に応じて、医療人材確保などのソフト中心の事業に必要な配分を行うこと
- 2 具体的な基金の用途は、これまで以上に自治体の裁量に委ねること
- 3 一定の規模までは、自治体の財政状況に左右されず、いわゆる裏負担なしに基金を活用できるメニューを一部設定すること

要望の趣旨

地域医療構想の推進に向け、国は2019年9月に再編統合等の議論も含め、2025年に向けた具体的対応方針の再検証が必要とされる424の公立・公的病院を公表しました。

また、令和2年度予算では、地域医療介護総合確保基金を活用した「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設整備に係る費用（560億円）」が計上されたほか、新たに「病床のダウンサイジングや統廃合による病床削減の補助金（84億円）」も計上されました。

このような病床削減の流れの中において、新型コロナウイルス感染症が拡大し、地域によっては対応可能な病床が不足、切迫する状況になりました。

今後、これまで以上の感染拡大があれば対応は困難です。特に424病院のうち53病院は、コロナ治療の中心的な役割を担う感染症指定医療機関です。

地域医療構想には、新興・再興感染症への備えという観点が欠けており、加藤厚生労働相が2020年6月5日の会見でも述べたとおり、構想を推進していく上で今後は感染症対策の観点も十分に織り込んで議論を進めていく必要があります。

当協会は確保基金について、前回（令和2年度予算要望）も、当県への配分額を全国2位の人口規模に応じた額となるよう要望しましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、改めて配分方針等の抜本的な見直しについて要望します。

- ・ 令和元(2019)年度地域医療介護総合確保基金（医療分）の全国総額824.1億円のうち、神奈川県は18.0億円（僅か2.18%）
- ・ 人口10万人当たり1年当たり基金交付額（2014～2018年度平均）は、全国一少ない。
→ これは、国の方針で、ハード整備を中心とした事業区分1（病床機能の分化・連携）に重点的に配分するとしていることが、当県の実情には即していないためです。

当県の地域医療が直面している問題はハード面で解決できるものばかりではなく、むしろ、医師や看護師などの医療人材の確保・養成が喫緊の課題となっています。

また、原則3分の一とされる自治体の一般財源の確保に制約があることも、ニーズがあるのに県の予算化につながらない原因です。

参考

- ・令和元年度地域医療介護総合確保基金（医療分）内示額一覧（2020年3月11日 報道発表資料）
- ・2018年度の地域医療介護総合確保基金（医療分）

（2019年9月2日 日医総研リサーチエッセイ No. 75 抜粋）

（ウ）200床以上の一般病院における紹介状なし患者の外来受診時定額負担の導入について

（内閣官房・厚生労働省）

要望内容（新規）

全世代型社会保障検討会議中間報告において公表された「200床以上の一般病院における紹介状なし患者の外来受診時定額負担の導入」は、一般外来機能を果たすことで地域医療に貢献している200床以上の一般病院の自由度と選択の幅を奪うものです。

一律に200床以上の一般病院を「大病院」として、診療所への事前受診を患者に義務づけ、このルールに従えない者から定額負担を徴収することは過度にアクセスを制限することになります。

地域医療に混乱、支障が生じることは明らかですので、当該定額負担の導入に反対です。

国民、病院医療関係者の意見をしっかりと聞いて対応していただきたい。

要望の趣旨

全世代型社会保障検討会議の構成員（有識者）には医療関係者が含まれていません。

財界主導の社会保障改革を目指す方向が鮮明で、首相官邸や財務省の思惑に沿って議論が進んでいることについて、危惧の念を抱いています。国民、病院医療関係者の意見をしっかりと聞いて対応されるよう要望します。

参考

- ・全世代型社会保障検討会議中間報告（令和元（2019）年12月19日） 一部抜粋
「第2章 各分野の具体的方向性 3. 医療 ②大病院への患者集中を防ぎかかりつけ医機能の強化を図るための定額負担の拡大」
- ・日本病院会 200床以上の一般病院の外来受診時定額負担に関する意見書（2020年4月15日）

（エ）病院の消費税問題の解決について（財務省・厚生労働省）

要望内容（継続）

今後将来に向けて、消費税負担に不公平が生じないようにするため、病院の社会保険診療報酬については、原則課税とするよう見直すことで、控除対象外消費税の問題を抜本的に解決すること

要望の趣旨

病院をはじめとする医療機関は、社会保険診療報酬が消費税非課税であるため、薬剤の購入や業務委託、医療機器など施設設備を整備する際に支払った消費税を控除することができません。

特に、新棟建設や地域の救急輪番体制を維持するために救急センターを再整備するなど、大規模な設備投資をする際には、相当な負担となります。

仕入れに係る消費税相当額分は診療報酬に上乗せして補てんされる仕組みになっていますが、平成30年夏に厚生労働省が調査した結果、病院では85%しか補てんされていないなどの数値が明らかになっており、それを修正したとしてもこの仕組み自体が大きな欠陥を抱えています。残念ながら、10%への引き上げに際しては、従前どおり診療報酬で補てんすることとなりました

が、病院はそれぞれ規模や機能が異なるため、透明性や公平性の点から、診療報酬による補てんを今後将来にわたって容認することはできません。

診療報酬での補てんには限界があります。非課税の社会保険診療を原則課税とするよう見直すことで、控除対象外消費税の問題を抜本的に解決することを要望します。

参考

- ・日本病院会雑誌 抜粋「巻頭言 消費税の課題」（平成30年8月）
- ・令和3年度予算概算要求に関する要望 一部抜粋（令和2年6月5日 四病院団体協議会）

○神奈川県に対する要望

（ア）コロナ感染症下における医療提供体制確保のための支援について（健康医療局）

要望内容（新規）

- 1 国への要望の働きかけ
- 2 国の補助金の柔軟な執行

要望の趣旨

各病院は、感染防止の取組や発熱患者への対応等に多額の費用を必要とする一方で、受診控えが続く厳しい経営状況が続いています。

診療報酬上の様々な配慮や、2020年6月の第2次補正予算での医療体制支援の交付金はあったものの、減収補填については盛り込まれず、大きな穴が開いたままとなっており、全ての病院にとって十分とは言えません。

コロナ感染症下において、経済的な原因での医療崩壊を防ぎ、医療提供体制を確保するために、厚生労働省・財務省に対して、4点（1 医療機関の経営破綻の防止、2 医療従事者への感染リスクへの対応、3 緊急時の感染症対策基金等の創設、4 感染防護用品、衛生用品等の確保）を中心とした一層の支援を要望（令和3年度予算要望）しましたので、県からも国へ働きかけていただくよう要望します。

また、国の補助金の執行にあたっては、本県の実情に応じた柔軟な運用を図られるよう要望します。

（イ）地域医療介護総合確保基金の抜本的な見直しについて（健康医療局）

要望内容（一部新規）

- 1 当協会が国に要望した内容について、神奈川県からも国に働きかけていただくとともに、これまで以上に地域の医療機関が基金を活用できるよう、最大限の努力をすること
- 2 神奈川県計画の事業化にあたり、各補助金事業の公募と決定プロセスについて、より一層の透明化・見える化を図られるよう、引き続き努めること

要望の趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染症患者及び疑似症患者を受け入れる病床が不足する事態になったことなどを踏まえ、地域医療構想における病床機能再編の議論を一部見直す必要が生じています。

地域医療構想の実現に向け、特に病院の再編・統合に優先して配分されてきた地域医療介護総合確保基金においても抜本的な見直しが必要です。

当協会としては、これまでも主張してきたとおり、当県への基金の配分が、全国2位の人口規模に応じた額となるよう、以下、1～3の事項を国に要望しましたので、県からも働きかけていただくよう要望します。また、これまで以上に各病院が基金を活用できるよう、尽力いただきたい。

- 1 全国一律に、ハード中心の事業区分1に重点・傾斜配分するのではなく、地域医療の実情に応じて、医療人材確保などのソフト中心の事業に必要な配分を行うこと
- 2 具体的な基金の用途は、これまで以上に自治体の裁量に委ねること
- 3 一定の規模までは、自治体の財政状況に左右されず、いわゆる裏負担なしに基金を活用できるメニューを一部設定すること

(ウ) 医療介護連携の促進について（健康医療局・福祉子どもみらい局）

要望内容（一部新規）

神奈川県在宅医療推進協議会及び地域包括ケア会議が取り組みを進める「病院の入退院調整窓口情報の一覧化」について、地域の実情に応じた使い勝手の良いものとして、継続して活用されるよう、完成後も予算を確保して運用すること

要望の趣旨

地域包括ケアシステムの構築には、病院、診療所、介護施設、在宅サービス提供事業者間の連携が不可欠であり、各事業者間において、さらなる情報共有の推進を図る必要があります。

高齢の患者は、介護保険サービスを利用していることも多くありますが、入院時に病院が必要な情報（ケアサービスの利用状況、日常のADLなど）と、退院時にケアマネージャーが必要とする情報（入院時の状況、退院後の医療的な助言など）の交換がスムーズにいかないと、病院は円滑な医療提供ができず、また、介護側はケアマネジメントとサービス提供に支障をきたすことになります。

しかし、相互の情報交換をしたいのに、病院の連携窓口や担当者が分からないので、どこに話をしたらよいか分からないという、介護側の声が多い状況があります。

そこで、「入退院調整窓口・担当者の一覧を作成し、介護側に提供する取組み」が有効な手立ての一つと考えられたことから、当協会は、前回の予算要望やこれまでの神奈川県在宅医療推進協議会及び地域包括ケア会議において提案し、当局において、今年度中に入退院窓口の調査を実施されることになりました。

調査結果に基づき、地域の実情に応じた一覧が早期に出来上がることを切に願うとともに、一覧が長い期間活用されるよう予算を確保されるとともに、公表の仕方や更新頻度など、丁寧に運用されることを要望します。

参考

- ・令和元年度神奈川県在宅医療推進協議会及び神奈川県地域包括ケア会議 資料抜粋
「県内病院の入退院調整窓口の調査について」（2020年3月 書面協議）

(4) 神奈川県の実施に対する意見等

ア 地域医療介護総合確保促進法に基づく令和3年度神奈川県計画の策定（医療関係事業）に向けた意見（神奈川県健康医療局長宛）（神病協発第204号 2020年7月31日）

・事業アイデア（「地域医療対策協議会・地域医療支援センター」の役割強化・体制整備事業）を提出した。併せて、7月16日付で当協会が提出した「令和3年度国及び神奈川県予算の編成に際しての要望」の「地域医療介護総合確保基金の抜本的な見直し」への理解と支援を求めた。

【事業名】 「地域医療対策協議会・地域医療支援センター」の役割強化・体制整備事業

【事業内容】 都道府県協議会及び地域医療支援センターについて、医師不足・偏在の実態把握及びコンセンサス形成と対策の実行機能を担う体制の充実強化を図る

【現状と課題】 三位一体という言葉に象徴される、地域医療構想、医師の働き方改革、専門医制度など、医師確保に係る諸問題に対応し、地域医療を確保する観点から「都道府県協議会」ではこれらの問題を総合的に確認・検討してゆくことが重要とされている。

神奈川県は、医師の人口あたりの数が少ないにもかかわらず、7つの大学病院があり、地域の基幹病院での研修プログラムや研修施設も多いため、こうした作業を、実効性を持って継続的に行ってゆくには体制的にも経費的にも大変負担が大きい。

また、重要な手段である地域枠の医師への支援と活用を進めるための体制も、現在は、ローテーションの頻繁な行政職によって運用され脆弱といわざるをえない。

そこで、基金を活用して都道府県協議会及び地域医療支援センターの効果的運用と実務作業等を専門に担う体制を確立・整備し、本県の地域特性を踏まえた実効性のある協議や対応ができるようにすることが必要と考えられる。

【事業効果】 医師確保問題による地域医療への影響が正しく評価され、そのフィードバックにより、より良い医師確保対策の運用がなされ、その結果として地域医療構想や地域包括ケア実現のための医師体制の改善を一定度期待できる。

【事業実施主体】 主体：神奈川県 医療関係団体・機関（大学医学部・県立病院機構・県医師会・県病院協会等）による受託及び実行委員会方式（医政発0725第15号運営指針で委託は可とされている）

【事業実施期間】 医師確保計画が定着運用されるまでの5年間程度を目安に

【予算額】 協議会等の専門委員謝礼・・・約600万円（19分野×3人×5日×2万円）／年
事務局組織運営費・・・約1,500万円（事務局員3人）／年＋ホームページ作成等事業費 500万円（初年度）

【提案事業をすでに取り組んでいるところがあるか】

長崎県 「ながさき地域医療人材支援センター」事業 長崎大学に委託
独自のホームページもあり <http://ncmsc.jp/>

岐阜県 「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」 22機関 岐阜大学に委託
事務局（岐阜大学医学部地域医療医学センター CRM）内 ホームページあり
他にも、沖縄県など、事務局を委託しているところあり。

イ 地域医療介護総合確保基金の活用について（要望 神奈川県健康医療局長宛）

（神病協発第 437 号・2021 年 1 月 8 日）

地域医療介護総合確保基金（以下、基金）を活用した事業として、これまでの県計画において、公立 2 病院の再整備が事業化された。現在、新たに公立 2 病院への事業化の検討が始まっている。

基金は地域医療構想の達成のために全ての病院を対象として活用されるべきものであるが、地域の拠点となる病院に重きがおかれ、結果として、規模の大きな公立病院の再整備（施設整備）に充てられている実態がある。

過去の県保健医療計画推進会議における県の説明では、「地域の中核病院としての機能充実・強化によって、周辺医療機関の人材育成支援、地域連携の取り組みが進む」ということであるが、関連付ける根拠が乏しく、またこれでは、公的・民間の病院が基金の対象となることはなかなか難しい。

あらためて基金を活用できる要件と対象範囲を明確にするとともに、県が的確なアドバイスを行うことによって、多くの病院が積極的に活用できる基金事業とされるよう要望します。

ウ「神奈川県保健医療計画改定（素案）」に係る意見（県健康医療局長宛）

（神病協発第 438 号・2021 年 1 月 8 日）

・・ 神奈川県の意見募集に対して、窪倉委員（協会副会長）の意見を提出した。

p20～p21：基準病床の見直しの検討手法について

横浜、川崎北部及び横須賀・三浦二次保健医療圏は、「必要病床数と既存病床数との乖離が大きいとして、最新の人口と病床利用率により再計算した結果を見た上で、地域の医療提供体制の現状を踏まえて、毎年度、基準病床の見直しについて検討する」こととしている。しかし、基準病床算出の計算式における不合理性；例えば、「高齢者人口が増えても総人口は増えず、生産年齢人口は減少する。」「病床稼働率が減少すると病床数が増加する。」などの問題に直面し、地域医療構想調整会議などが紛糾することが多々ある。

そこで、この「最新の人口と病床利用率により再計算した結果」に加えて「地域の医療提供体制の現状や救急医療の実態、圏域内での流出入調整の実態、医療従事者確保状況、高齢者施設での受け入れ状況などの様々な要因を多面的に分析し、基準病床の見直しの必要性について客観的に、一定の時間をかけて議論できるようにすべきと考える。

今年度、横浜地域でその基礎が築かれつつあるが、残念ながら泥縄的な準備のために十分な検討の時間が取れない現状がある。毎年見直しが決まっている地域では、事前の検討課題の抽出、ワーキンググループの立ち上げなど、「見直しの検討」手法全般を改めてはどうかと考える。

P120：在宅医療の「目標」について

目標の一つに挙げられる在宅療養後方支援病院は地域包括ケアの実現にとって大変重要であるにも関わらず、届け出数が大変少ない。この役割は診療報酬上に位置付けられる地域包括ケア病棟（病床）が担うべきものであり、地域医療構想で増やすことが必要な回復期病床を意味することは異論のないところである。「在宅療養後方支援病院」の数だけではなく、地域包括ケア病棟（病床）・回復期病床の数の推移も把握して評価すべきではないか。

P114:在宅医療における医療介護連携および ICT ネットワーク事業について

本計画は、「かながわ高齢者保健福祉計画（介護保険事業（支援）計画）との整合性を図る」としているが、両計画ともに、医療介護連携における ICT ネットワーク事業についての言及がない。

神奈川県でも地域医療介護連携ネットワーク構築検討会議が組織され、「県民に適切な医療、訪問看護サービス、介護サービスを提供するため、患者の同意を得た上で、病院、診療所（医科・歯科）、薬局、訪問看護事業者、訪問介護事業者等の機関間において、当該患者の医療情報を電子的に共有・閲覧できる仕組み」として地域医療介護連携ネットワークを構築する動きが具体化しており、横浜市と連携した事業展開がなされている。

そうした趨勢に照らして、今回の「素案」では、県が進めようとしている医療介護連携に係る ICT ネットワークにもしっかりと焦点を当て、どのようにこの施策を活用しようとしているのか、すべきか、諸計画の整合性を図って明確な位置付けをするべきと考える。

（５）新型コロナウイルス感染症に係る意見等（Ⅱ－２－１ 地域医療対策事業に記載）

ア 新型コロナウイルス感染症への対応に係る診療報酬等に関する要望書

（2020 年 6 月 15 日 内閣総理大臣及び厚生労働大臣宛）

- ・ 内閣総理大臣及び厚生労働大臣に要望した。また、神奈川県知事、神奈川県議会議員、県内選出国會議員、県議会県議団長・政調会長、県厚生常任委員に政府への働きかけや予算確保などに対しての力添えを依頼した。

神奈川は、国内で最初の患者を経験し、また、前代未聞のダイヤモンド・プリンセス号への対応から、多くの医療機関が最前線に立って戦ってきたところである。

このたび、県内の病院協会が協同して、病院の経営状況を緊急調査したところ、4月は、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れの有無にかかわらず、外来・入院とも大幅に患者が減少しており、一方で人件費は増加するなど全国の状況と比較しても経営状況は著しく悪化している。

診療報酬に関しては、新型コロナウイルス感染症患者を入院させている医療機関においては、人員配置、病床整備、感染リスクへの対策等、職員の多大な努力とともに多くの費用が必要となっているのは一定のご理解をいただいているところであるが、疑似症の患者を受入れざるをえない医療機関においても、同様のヒト・モノ・カネの投入が必要である。

また、特に無症状の患者が感染を拡大させる可能性も指摘されているところであり、急性期・回復期・慢性期・精神科を問わず、どの医療機関も地域医療を守るため、院内感染防止、発熱患者への対応を含め、日夜尽力しているのが現状である。

このままの状況では病院経営が立ちゆかなくなり、経済的な原因での医療崩壊の危険性が高まっている。診療報酬上の様々な配慮と第2次補正予算での医療体制支援の交付金拡充はあったものの、減収補填については盛り込まれず、「大きな穴」が開いたままである。受診控えなど個々の病院の責任に期せない損失によって困窮しているすべての病院にとっては未だ十分ではない。

現下の状況を踏まえ、各地域での医療提供体制を継続するため、あらためて下記の事項を要望する。

記

1. 新型コロナウイルス感染症受入れの有無にかかわらず、患者本人負担を据え置きつつ、入院基本料、

初・再診料及び外来診療料について、一定期間2倍程度にするなど、大幅な増額を強く要望する

2. 新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症の入院、院内感染発生や院内感染防止策として行った休床・休棟の措置等で大幅に収入が減少した病院、更には全国的な受診控えなどによって大幅に収入減少した病院に対して、前年度の医療収入を基準とした診療報酬の概算請求を認めるよう要望する
3. 診療報酬の概算前払は、5月診療分に限定せず当面の間継続するとともに、減額調整の猶予期間は最大5か月とせず、柔軟に対応することを要望する
4. 新型コロナウイルス感染症対応が求められる当面の間の、医療従事者等の医療法・診療報酬上の配置基準の緩和措置の継続を要望する
5. 重症度・医療・看護必要度、在宅復帰率、データ提出加算の届出等の基準に関して経過措置期間の延長を要望する
6. 新型コロナウイルス感染症対応が求められる当面の間の、観血的手術又は麻酔管理症例における診療報酬上の加算項目を要望する
7. 院内感染防止のために行うPCR検査・抗原検査を含めた検査料については、医師が必要と認めた判断を尊重することを要望する
8. 福祉医療機構の手続き期間について一層短縮することを要望する
9. 特に、病院の倒産などにより地域医療に支障が生じることのないよう、医療機関版の持続化給付金を早急に検討し実施することを要望する

参考送付先

神奈川県知事 神奈川県議会議員 県内選出国會議員 県議会県議団団長・政調会長
県厚生常任委員 県内地区病院協会 県医師会・郡市医師会 県立病院機構 県看護協会
全国組織の病院団体 他の都道府県の病院団体(法人)

下線部は日本病院団体協議会（計15団体が参加する病院団体）が6月3日に厚生労働省保険局長に提出した「新型コロナウイルス感染症への対応に係る診療報酬に関する要望書」に加えて要望する項目

イ 湘南西部病院協会による「回復期、慢性期、精神科病院、高齢者施設に対する COVID-19 に対する感染対策教育指導の要望」について（2020 年 6 月 25 日 県健康医療局長宛）

・急性期の病院を含めて、全県的に実施されたい旨、当協会としても要望した。

標記の要望につきましては、湘南西部地域のみならず、また、急性期の病院を含め、全県的に実現していただきたいと思います。当協会としても要望いたしますので、よろしくお願いします。

(湘南西部病院協会による要望)

回復期、慢性期、精神科病院、高齢者施設に対する COVID-19 に対する感染対策教育指導の要望

第1波は現在落ち着いてきておりますが、流行の第2波・第3波が襲来することが危惧されます。その際に医療崩壊を避けるため、COVID-19 に対処してきた病院や医療チームのノウハウを対処の経験の無い病院・施設でも共有することがクラスター対策として重要と考えます。

急性期病院に限らず、回復期・慢性期病院、精神科単科病院、高齢者の入所する介護施設では、COVID-19 の疑似症例や陽性患者が発生する可能性がかなり高く、また COVID-19 陽性患者の急性期治療後、療養後の受け入れもあり、院内・施設内での感染防御対策が求められます。このような施設では感染の専門家が不在であることも多く、きちんとした対策ができない不安があります。

感染が少し落ち着いているこの時期に是非各施設への感染対策強化のご指導を頂きたいと思い、要望をいたします。要望は以下の方法で提供いただけると幸いです。

1. 県の担当者が県内の病院・施設を指導する。
2. WEB で e-learning を提供する。
3. 施設内で職員皆が共有できるように DVD などで配布する。

教えていただきたいと考える項目を以下に提示します。その他、必要と思われる項目を加えていただければと考えます。

1. 患者から職員への感染予防

COVID-19 の治療に従事しても院内感染を起こさないためのノウハウ

- ・ N95 マスク、防護服、手袋等の PPE の扱い方
- ・ 絶対的に禁止すべき行動
- ・ 換気の基準
- ・ 見落としやすい感染経路

2. 患者間の感染予防

- ・ ズーニングの具体的方法

患者が自力移動できて指示に従える一般病床の場合

患者が自力移動できるが指示には従えない精神科病床や介護施設の場合

患者が自力移動できない療養病床の場合

- ・ 大部屋から症例が出た場合の隔離方法

3. 職員から患者および職員間の感染予防

- ・ 職員間の院内感染の予防策

- ・院外での感染源として特に注意すべき場所・行動

4. COVID-19 への対処全般

- ・画像診断（CT、レントゲン）
- ・PCR の一般病院よりの検体提出（疑い症例およびスクリーニング）
- ・軽症者に対する治療内容および重症化する場合の予兆（検査データ等）
- ・重症化した場合の取り得る手段（主に投薬内容）

ウ 院内感染の水際対策として実施するPCR検査に関する要望書

(2020 年 7 月 16 日 厚生労働大臣宛)

新型コロナウイルス感染症の感染収束までの一定期間、院内感染の水際対策として

- 1 全入院患者に対する PCR 検査の実施（保険適用）
- 2 病院職員に対する定期的な PCR 検査の実施（公費負担）について、認めていただきたい。
- 3 また、その実現のため、十分かつ迅速な PCR 検査ができるよう、早急に体制を確立していただきたい。

要望の概要

コロナ患者の国内死亡例の 4 分の 1 は院内感染によるものであり、また、看護職を中心に医療従事者の感染例も多い状況です。

各病院は面会や付き添いの禁止や来院者の検温など、院内感染への水際対策を強化していますが、症例の割合は明らかではないものの、無症状患者から周囲に感染が起きています。

PCR 検査は感度 70%程度とされているため、一定の限界はあるとしても、検査の実施は、入院患者の安心向上、院内感染を防止することによる地域医療の継続、医療従事者のストレス緩和（感染すること、感染させることへの不安）への有効な対策となります。

病院の検査体制が確立しないままにインフルエンザの流行を迎えると、医療現場は混乱し、感染制御は一段と困難になります。WITH コロナ時代の PCR 検査のあり方として、できる限り早期に認めていただくよう要望します。

PCR 検査 保険適用の見解（4 月 24 日 中医協総会 厚労省 保険医療技術評価推進室長）：医師が「新型コロナウイルス感染を疑い、患者の治療等を完遂するために必要不可欠である」と考える場合には、PCR 検査を保険診療として実施することが可能である。一律に、例えば入院患者全員について、新型コロナウイルス感染の疑いがない患者に対しても PCR 検査を実施するような場合には、保険診療として認めることは難しい。

参考・新型コロナウイルスの院内感染防止対策－全入院患者に PCR 検査が必要

(2020. 6. 27. 日本医事新報 web)

- ・院内感染なら死亡率 4 倍に 99 病院 205 人死亡で浮かんた新型コロナの猛威

(2020. 6. 7. 毎日新聞 web)

エ 国内発生早期における新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院への正当な評価と対応

について（提案と要望）（2020年9月18日 内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣宛）

- ・内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣に要望した。また、神奈川県知事、神奈川県議会議員、全国知事会、首長他（横浜市・川崎市・横須賀市・藤沢市・平塚市・厚木市）、県内選出国會議員、県議会県議団団長、県厚生常任委員、県内地区病院協会、県医師会・郡市医師会、県立病院機構、全国組織の病院団体、他の都道府県の病院団体（法人）他に、要望の実現に向け、支援をお願いした。

新型コロナウイルス感染症に関して、令和2年度に相次いで措置された補正予算等により、不十分ながら、診療報酬の増額や空床補償、感染防止対策など、患者受入れ病院への支援が整えられてきている。

一方、令和2年の年明け早々から、本県をはじめ、北海道、東京、愛知、大阪など先駆的に患者を受入れてきた地域の病院への診療報酬上の対応、措置などは、「年度が替わる前のこと」として、ほとんど実施されておらず、一部、神奈川県等が遡っての支援の予算化を検討しているにすぎない。

そこで、神奈川県内での状況を踏まえて、次のことを提案・要望する。

- 1 コロナ診療に対する正当な評価に基づく診療報酬を令和2年1月にさかのぼり実施すること
- 2 受入れ病院が、感染制御・防止対策のために取り組んだ超過的な負担への支援措置を講じること
- 3 先駆的に患者受入れと治療に取り組む病院に対し、受け入れ実績に応じて、DPC 係数の実効性のある加算を一定期間設定すること

各提案、要望事項の内容は、次ページ以下のとおりであるが、コロナ患者（含疑似症）を受け入れるにあたっては、通常の3倍以上もの人手やスペース、医療資材がかかる。また、今回の提案には含まれていないが、他の患者の受入れを止めたことによる機会損失や、風評による一般患者の減少もある。

神奈川県でのダイヤモンド・プリンセス号の事例を基にした提案であるが、この乗客・乗員769人は、全国の15都府県で受け入れている。また、帰国者などを含めた市中感染（3月31日発表2,178人）との戦いは、本県だけでなく、北海道、東京、愛知、大阪などでもすでにこの時期から始まっている。

そして、今回の論点ではないが、その中には、「医療機能、診療実績が少ない、再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等424病院」も相当数含まれているのである。

コロナ患者（疑似症を含む）を受け入れる医療機関については、損失補填という意味だけでなく、正当な評価、相応しい対価を今後はもちろん、年初まで遡って支払うなど、格別の措置を政府の責任で講じていただきたい。

資料1 神奈川県での2020年3月までの新型コロナウイルス感染症患者の状況

資料2 2・3月のコロナ患者診療報酬の差額状況（サマリー）

資料3 // （データ）

参考資料 先駆的に患者を受け入れた病院の状況

各提案・要望の内容と理由

- 1 コロナ診療に対する正当な評価に基づく診療報酬を令和2年1月にさかのぼり実施すること

神奈川県においては、コロナへの対応は、1月15日、国内第1号患者の判明に始った。2月3日にダイヤモンド・プリンセス号が大黒ふ頭に着岸したことにより、早い時期から新型コロナウイルス感染症患者への対応を余儀なくされた。全国的には、15都府県で同客船から患者を受け入れたとされる。

（資料1 神奈川県での2020年3月までの新型コロナウイルス感染症患者の状況）

神奈川県のみならず、早期に対応を迫られた医療機関では、同客船以外の患者も含めて、知見のほとんどない新型コロナウイルス感染症への対応のため、医療スタッフのシフト配置やゾーニング、資機材の投入などを迫られたのである。

（参考資料 先駆的に患者を受け入れた病院の状況）

サンプリングで5病院に依頼して、2・3月と5月措置後の入院単価との比較を調査したところ、かなりバラツキはあるが、入院1日あたり、

重傷者で 14万円から25.3万円

中等症で 1.1万円から16.3万円

軽症で 2.5万円から18.4万円

の差があることがわかった。この差額だけで、2・3月の総額で5千万以上になる病院もある。（5病院の内3病院で 5.8、5.5、3.9千万円）

（資料2 2・3月のコロナ患者診療報酬の差額状況）

こうしたことから、まず最低限、5月の措置の1月への遡り実施も含め、コロナ患者診療の正当な評価を診療報酬に反映し、支払っていただきたい。

また、ある医療機関では、資料2に記載のとおり、通常時のICUの入院では、手術などを伴うことが多く、出来高部分が高額となり、平均入院単価58万円以上にのぼるところもあるが、コロナ患者の場合は、5月措置後でも32万円台で、かつ長期占有も多く、他の高度医療を必要とする患者を受けることができない状況となり、その差額は4.5千万円にもなる機会費用も生じている。

- 2 受入れ病院が、感染制御・防止対策のために取り組んだ超過的な負担への支援措置を講じること

当初、新型コロナウイルス感染症は、感染力や治療期間・治療法などについて、未知の

ことが多く、また、早期に患者を受け入れた病院には、感染症指定医療機関も多いが、既存の感染症病床などでは、人工呼吸器やモニター機器などが病室に入りきらない状況もあった。

こうしたことから、患者を受け入れるにあたり、感染制御のゾーニングを徹底するため、あるいは、対応医療スタッフの2元化等を図るため、病床・病棟の再編（含む休床・休棟）が必要と判断し、早期からコロナシフト体制を敷いて運用した病院が多くある。

が、2次補正予算で措置された空床補償も、2020年4月以降からで、その前に、病院がやむにやまれず対応した休床・休棟、体制整備の努力には正当な対価や補償等を受けられていない。

神奈川県内では、コロナ患者にまず率先して対応したのは、感染症指定医療機関（県内8病院 74床）と結核病床（県内4病院 166床）のある病院であるが、その多くが国公立（公的1）病院であったことから、「採算は二の次」で緊急対応が行われている。この対応は、明らかに、収益をもって費用に充てられない、行政代替機能及び高度不採算医療を実施したものである。

国公立病院であれば、当然、法令に基づき負担金を措置すべきものであるが、ダイヤモンド・プリンセス号に神奈川県で対応した38病院のうち、国公立病院は17病院であり、過半の21病院は、公的と民間病院である。このままでは、何の手当もないまま大きな損失となってしまう。

さらに、通常の病棟でコロナ患者を受け入れた場合、ほとんど個室対応となる。通常であれば特別の療養環境を希望する患者から差額ベッド料が見込めるところ、これも確保できず大きな機会費用となっている。

こうしたことから、令和2年1月からの受け入れ病院の行政代替機能及び高度不採算医療に伴う超過負担に対し、国公立病院は法令に基づく負担金を、また、公的及び民間病院に対しては、国公立に準じた以上の支援措置を、開設者の財政状況によって差がつくことの無いよう、政府の責任で講じること

3 先駆的に患者受入れと治療に取り組む病院に対し、患者の受け入れ実績に応じて、DPC係数の実効性のある加算を一定期間設定すること

新型コロナは、当然のことながら、新型感染症で、標準治療が未だ定まらず、従って診療報酬の積算ルールも途上にあると理解している。

当初従来型（コロナ）肺炎の診断群でのDPC算定が、結核病床では、元々の結核病棟入院基本料ベース、あるいは該当診断群なしの出来高、さらには一部自由診療（外国籍乗客・乗員）となっていた。

3月25日の中医協で、2022年度改定までは、DPC病院でも出来高払いとされることとなり、また、4月、5月と、順次、入院基本料3倍等の措置が講じられたが、コロナ患者の診療報酬については、5月までの措置で終わることなく、早急にデータを収集・整理し、ウィズコロナの時代に耐えられるよう、2022年改定以前にできるだけ早期に適切な設定を図っていただきたい。

また、特に先駆的にダイヤモンド・プリンセス号から受け入れた県内 38 病院のほとんどは、DPC 病院であり、令和 2 年度改定で設けられた「新型インフルエンザ患者入院医療機関」として 0.25 加算対象の病院もある。(神奈川県内 合計 40 病院)

しかし、この加算を受けている病院も地域医療係数の最大値をすでに他の項目で満たしていることから、加算の意味がまったくない評価項目となっている。

こうしたことを踏まえ、令和 2 年 9 月までのコロナ患者の受入れに関し、次の項目例を軸に評価するなど丁寧な評価と、他の項目から独立した実効性のある DPC 係数の上乗せ加算を設定すること。

- 1 時期
(早い時期ほど高く)
- 2 重症度に応じた患者数 (延べ)
(重症ほど・多いほど高く (絶対数及び地域での総数に占める割合も加味))
なお、疑似症については、陰性であっても明確になるまでの日数をカウント
- 3 新型コロナ診療に係る地域貢献
(地域のコロナ重点医療機関等への病床等登録状況)

資料 1 神奈川県での 2020 年 3 月までの新型コロナ感染症患者の状況

<u>ダイヤモンド・プリンセス号乗客乗員</u>	<u>203 人</u>
<u>3 月 31 日までに神奈川県内の患者累計</u>	<u>144 人</u>
<u>3 月までの県内患者数 (実員)</u>	<u>合計 347 人</u>

主な経過

- 1 月 16 日 (木) 国内第 1 号患者判明 (横浜市内 30 代男性)
(1 月 6 日武漢から帰国 同日医療機関受診 10~15 日入院)
- 2 月 3 日 ダイヤモンド・プリンセス号 横浜市鶴見区大黒ふ頭着岸
(当初 船内 10 人の陽性患者判明)
5 日 DMAT による患者搬送開始
(当初 神奈川 DMAT 以後、順次他都道府県に拡大)
- 県内 38 医療機関において、203 人を受入れ (2 月 5 日~3 月中旬)
(県内 医療機関別患者数は 1 人~最大 19 人)
(全国では 769 人 15 都府県の医療機関に搬送)
- 2 月 16 日 (日) 国内初の死者 感染判明は 13 日 (木)
80 代女性 (相模原中央病院 (クラスター発生) → 国公立病院に転医)

資料 2 2・3 月のコロナ患者診療報酬の差額状況 (サマリー)

- 1 2・3 月の入院患者に 5 月 22 日通知後の積算を当てはめた場合

D病院5.8千万円、E病院5.4千万円、A病院3.9千万円もの差が生じている。
各病院の単価にはばらつきがあるため、次のとおり幅を持たせた整理を行った。
(詳細は、資料3)

入院単価 (円)

症状 (サンプル数) n=人日	A 2月及び3月の 入院患者実績	B 5月入院患者実 績または22日通 知後試算	B-A 患者1人日の差額
重症(3病院) n=342	186,940~155,215	327,074~417,177	140,134~253,448
中等症(3病院) n=241	30,093~82,706	40,759~245,509	10,666~162,803
軽症(3病院) N=689	40,435~112,415	65,333~296,005	24,898~183,590

サンプル5病院 1大学本院、2DPC特定(公的)、1標準(公立)
(中等症は要酸素吸入レベル及び合併症)

- 2 ある病院の「通常時の患者の入院単価」との比較(単位 円)
また、別の角度から、A病院の通常時の入院単価と比較を行った。
重傷者(ICU、HCUの入院単価) 584,728
軽症者(室料差額を除く通常病棟の入院単価) 80,544
重傷者の差額 397,788 機会損失 82人日 32,618,645
軽症者 // 34,467 362人日 12,477,185
通常の2・3月であれば、得られた収入との差額 45,095,830円

資料3 2・3月のコロナ患者診療報酬の差額状況(サマリー)

病院名 (病院属性)	2月3月の受入れ患者数			6月時点の診療報酬を適用した場合の差額総額 (円)	重 症				中等症（酸素吸入等）				軽 症						
	来入数 (人)	内DPC 号	15人以上 (人日)		2月及び3月の入院		5月 入院患者 で計算	差 額 円/人日	2月及び3月の入院		5月 入院患者 で計算	差 額 円/人日	2月及び3月の入院		5月 入院患者 で計算	差 額 円/人日			
					延人数 (人日)	入院単価 (円/人日)			延人数 (人日)	入院単価 (円/人日)			延人数 (人日)	入院単価 (円/人日)			延人数 (人日)	入院単価 (円/人日)	
A病院 (横浜 公的)	28	5	187	39,103,262	82	186,940	41 (実績)	327,074	140,134	4 (実績)	312,303	5 (実績)	166,100	NA	362	46,077	493 (実績)	76,277	30,200
B病院 (横浜 公立)	15	5	151	1,610,666	-	-	-	-	NA	151	30,093	362	40,759	10,666	-	-	-	-	NA
C病院 (横浜 公的)	3	2	29	NA	-	-	31	357,963	NA	29 (実績)	HCU未入れ 232,638	-	NA	-	-	16	120,232	-	NA
D病院 (大学本院)	15	11	244	58,372,211	111	155,215	111 (試算)	385,219	230,004	49	82,706	49 (試算)	245,509	162,803	84	112,415	84 (試算)	296,005	183,590
E病院 (岡山 公立)	28	13	433	54,829,122	149	163,729	54 (試算)	417,177	253,448	41	40,998	28 (試算)	70,099	29,011	243	40,435	129 (試算)	65,333	24,898
89 36 1,044 342 243 689																			

- 1 2・3月の神奈川県内の新型コロナ患者数 347人の26%
2 ダイヤモンド・プリンセス号からの患者 203人の17%
3 5月通知後の入院単価を計算するにあたって、サンプルが適当でなかったり、数が少ないなどに
よ
4 合計して平均を取るなどしても有意な数値にならないため、本文中で引用した最大、
最小
5 病院名は、秘匿したが、大学1、公立2、公的2
6 DPC分類 大学本院1、特定2、標準2(2020年3月時点)

参考資料 先駆的に患者を受け入れた病院の状況

- 1 F病院の取組 ……11 (公立病院 DP 号6人受入れ 5月までの症例140 (内確定34))
 - 2 D病院の取組 ……13
 - 3 県立循環器呼吸器病センター ……14
新型コロナウイルス感染症診療の実績 (神奈川県医師会報6月10日号抜粋)
 - 4 県立足柄上病院の取組 ……17 (一般向け広報「かけはし (令和2年度臨時号)」)
 - 5 相模原中央病院の学会誌投稿 (感染症学雑誌第94巻第4号別冊P553 ~562 添付省略)
-

オ 横浜市病院協会から1月29日付で要望のあった「コロナ陽性患者の入院管理を現在行っていない病院において発生した陽性患者の入院管理の継続依頼」について (2021年2月12日)
・・全県的に実施されたい旨、当協会としても県健康医療局長へ要望した。

標記の要望につきましては、横浜市のみならず、全県的に実現していただきたいと思います。
当協会としても要請いたしますので、よろしくお願いします。

(横浜市病院協会による要望)

新型コロナウイルス感染症陽性患者の入院管理を現在行っていない病院において発生した
陽性患者の入院管理の継続依頼について(要望)

日頃から、当協会の活動に対し、御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症対策への取組に改めて敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、病床が逼迫しているため、貴職から、「新型コロナウイルス陽性患者の入院管理を現在行っていない病院において発生した陽性患者の入院管理の継続について」(医危第1976号令和3年1月13日(令和3年1月25日修正))及び通知(医危第2024号(令和3年1月25日修正))が発出されました。

この突然の文書に対して、会員病院からは戸惑いと不安の声が寄せられています。

病院の構造上などから、感染対策が十分にできずにクラスターが発生し、病院機能、ひいては病院そのものが維持できなくなるのではないかと、重症化しても自院での診療を続けざるを得なくなるのではないかと切実な声であります。

今般の措置は、現下の状況を踏まえた緊急、やむを得ない措置との判断だとは言え、こうした不安や負担を軽減することが必要だと考えます。

そこで、以下のことを要望します。

- 1 入院管理の継続については、一律に求めるのではなく、各病院が自院の状況に応じて慎重に行う判断に委ねること。
- 2 継続して入院管理できる体制整備に向けて各病院が取り組めるよう助言・指導に努めること。また、積極的な情報提供に努めること。
- 3 既存の財政支援については、速やかな執行に努めること。また、更なる充実を検討すること。

なお、会員病院に対し別紙のとおり協力をお願いしたことを申し添えます。

7 行政・政党・医療関係団体との意見交換・懇談に関する件

(1) 行政・政党との意見交換

ア 神奈川県健康医療局

日 時

(意見交換会 2回開催)

① 2020年7月3日(金)午後6時

② 2021年1月8日(金)午後4時30分

(予算要望)

① 2020年7月21日(火)午後3時45分

イ 自由民主党

(予算要望 県議会議員団ヒアリング)

日 時 2020年7月16日(木)午後2時25分

ウ 公明党

(予算要望 県議会議員団ヒアリング)

日 時 2020年7月29日(水)午後3時

エ 立憲民主党

新型コロナウイルス感染症対策に係る意見
交換会

日 時 2020年7月29日(水)午後4時15分

オ 自見はな子国会議員への要望書説明

新型コロナウイルス感染症対策に対する
県病院協会の要望書内容の説明

日 時 2020年10月1日(水)午後1時30分

(2) 医療関係団体との懇談

病院医療関係団体連絡協議会、愛知県病院
協会、地区病院協会との懇談会は、新型コロ
ナウイルス感染症拡大防止のため全て中止

8 褒賞に関する件

2020年度表彰受賞者は次のとおりである。

ア 神奈川県救急医療功労者表彰

上白根病院

あさひの丘病院

湘南鎌倉総合病院

小田原循環器病院

大和徳洲会病院

イ 神奈川県公衆衛生協会会長表彰

三角 隆彦(済生会横浜市東部病院 院長)

Ⅱ 事業関係

1 総務経理・褒賞委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

窪倉 孝道 汐田総合病院理事長

委員 (担当常任理事)

三角 隆彦 済生会横浜市東部病院院長

松島 誠 松島病院理事長・総院長

小松幹一郎 小松会病院名誉院長

菅 泰博 麻生総合病院理事長(兼)病院長

長倉 靖彦 横浜掖済会病院名誉院長

委員 (担当理事)

平元 周 横浜総合病院理事長

細川 治 横浜栄共済病院長

内海 通 総合新川橋病院理事長

事業委員 (幹事)

中村 基樹 松島病院局長代行

事業委員

北川 剛 横浜掖済会病院事務部長

(2) 委員会等の開催状況

ア 第1回総務経理・褒賞委員会

(書面審議 2021年1月20日付)

内 容

協議事項

(ア) 2020年度「病院の事務長等に関する表彰」の候補者選定について

(3) 会員の慶弔

ア 祝電・生花等

・相模原協同病院開院式

日 時 2020年12月11日(金)

場 所 相模原協同病院

イ 弔電・供花等

・片山 國昭(片山整形外科記念病院 理事長)

2020年7月19日御逝去

・中野 雄二(つづき病院 理事長)

2020年8月9日御逝去

・新江 良一(横浜鶴見リハビリテーション病院 病院長)

2021年1月1日御逝去

(4) 懇談会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
定時総会後懇談会及び2021年新年賀詞交歓会
ともに中止

(5) 事務長等表彰

会員病院における事務長等に対し、永きにわたり
病院の運営に尽力され、かつ協会の発展のために
功績のあった方々に対して表彰を行った。

日 時 2021年3月2日(火) 午後2時

場 所 県病院協会役員室

表彰者 本多 哲也(戸塚共立第1病院)

小林 章利(川崎市立多摩病院)

2 地域保健医療対策委員会

(1) 委員会の構成

委員長（担当副会長）

窪倉 孝道 汐田総合病院理事長

委員（担当常任理事 ○は主担当）

急性期担当

○三角 隆彦 済生会横浜市東部病院長

太田 史一 太田総合病院長

慢性期担当

○小松幹一郎 小松会病院名誉院長

篠原 裕希 クローバーホスピタル理事長

公衆衛生担当

○長倉 靖彦 横浜掖済会病院名誉院長

地域包括ケア担当

○篠原 裕希 クローバーホスピタル理事長

鈴木 龍太 鶴巻温泉病院理事長（兼）院長

委員（担当理事）

澤井 博司 青葉さわい病院理事長

小澤 幸弘 三浦市立病院総病院長

事業委員

伊藤 正行 太田総合病院事務局長

花岡 伸 小松会病院事務長

(2) 委員会・講演会等の開催状況

ア 令和2年度地域医療構想の実現・働き方改革の推進に向けた病院管理者研修（第1回）

厚生労働省が開催する標記研修について、県から参加者推薦依頼があり、事務長部会鈴木代表幹事を推薦した。

開催 2020年12月1日（火）・2日（水）

開催方法 オンライン開催

参加者 鈴木 通 事務長部会代表幹事
（湘陽かしわ台病院 事務部長）

(3) 事業等の概要

ア 医療情報の収集・提供及び周知

国及び県の通知・情報等を会員病院へホームページ、FAX、郵送等により随時周知

イ 医療通訳派遣システム事業の推進

外国籍患者が安心して医療を受けられるよう、MIC かながわ、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、かながわ医療通訳派遣システム自治体推進協議会と協定を締結し、医療通訳派遣システム事業運営に協力

ウ 児童虐待事案の防止及び適切な対応

神奈川県警察及び神奈川県医師会との「児童虐待事案の対応に関する覚書」（平成19年8月7日締結）に基づき児童虐待事案の防止及び適切な対応について連携

エ 県民の健康増進対策

1 がん克服シンポジウム

実行委員会に参画し、がん検診の普及、がん予防、がん医療に関する情報提供を行う。

開催日 2021年2月16日（土）午後2時

開催方法 オンライン配信

テーマ コロナ禍におけるがん検診の大切さ

内容 「大腸がんの予防と早期発見」

山王病院 内科部長 大久保 政雄

「検診受診による早期発見と禁煙で肺がんのリスクを減らす」

藤沢市民病院 副院長 西川 正

「乳がんと新型コロナウイルス感染症のウソ・ホント」

湘南記念病院 乳がんセンター長

土井 卓子

日本対がん協会がん検診研究

グループマネジャー 小西 宏

2 スモークフリー推進かながわ基金事業

受動喫煙の防止対策推進等のため、神奈川県、県医師会等と共に基金を設立。イベント・シンポジウム・広報等で普及啓発

オ 医師及び看護師等求人情報サイトの運営

（ア）医師求人情報の掲載

95 施設（2021年3月末日現在）

（イ）看護師等求人情報の掲載

172 施設（2021年3月末日現在）

2-1 地域医療対策事業

(1) 地域医療構想関係

ア 神奈川県が設置する検討機関への参画

- ・地域医療構想調整会議
- ・地区保健医療福祉推進会議

(2020 年度は各地域で 3 回開催)

県病院協会推薦委員

横浜地域 窪倉副会長

川崎地域 菅常任理事

相模原地域 西 八詞 先生

(相模原赤十字病院長)

三浦半島地区 長堀副会長

湘南東部地区 数野副会長

湘南西部地区 鈴木常任理事

県央地区 高原常任理事

県西地区 南常任理事

- ・神奈川県保健医療計画推進会議

(2020 年度は 3 回開催)

県病院協会推薦委員 窪倉副会長

イ 2020 年度病床機能分化・連携促進事業

(事業主体：神奈川県 受託：県病院協会)

目的

地域医療構想区域(以下「地域」という。)における病院等の医療機関や、医療関係者等が連携しながら、地域の医療機関の役割分担等についての意見交換等を進めるほか、地域医療構想の推進に向けた地域の自主的な取り組みや連携を促すことを目的とする。

支援対象

地区病院協会(法人格のない「病院会」などの団体を含む)

地区への支援限度額

上限 500,000 円

2020 年度事業実施額

2,117,699 円(県受託料は 2,570,000 円、差引 452,301 円を県に返還)

支援対象事業

A 地域の公式調整会議の事前・事後などの情

報共有・意見交換等で、地域の行政機関と調整のうえ実施するもの(全地域)

B 構想の推進に向けて必要な、当該地域の状況を共有するための組織化・検討会・講演会・勉強会等(全地域)

C 地域内でのアンケート等調査事業(全地域)
新型コロナ対策支援事業

2020 年度は新型コロナウイルスに関する地域医療提供体制の協議を地区で実施する場合に対し、特別追加分として、病床機能分化・連携事業と別枠で支援した。(地区への支援限度額上限 500,000 円)

結果報告(計 27 回)

1 医療機関間の意見交換の場の開催(22 回)

地域	地区病	開催日等
横浜	横浜市 病院協会	2020 年
		7 月 10 日(金) 南西部
		7 月 13 日(月) 南部
		7 月 17 日(金) 西部
		7 月 17 日(金) 北東部
		7 月 27 日(月) 北部
		7 月 27 日(月) 東部
		7 月 28 日(火) 中心部
		11 月 6 日(金) 中心部
		11 月 12 日(木) 東部
		11 月 16 日(月) 北部
		11 月 16 日(月) 南部
		11 月 17 日(火) 西部
		11 月 19 日(木) 北東部
		11 月 26 日(木) 南西部
		合計 14 回
川崎北部 ／ 南部	川崎市 病院協会	0 回(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
相模原	相模原市 病院協会	病床機能分化・連携促進事業 2020 年 10 月 30 日(金) 2021 年 3 月 5 日(金) 新型コロナ対策支援事業 2020 年 4 月 13 日(月) 5 月 11 日(月) 合計 4 回

湘南西部	湘南西部 病院協会	2020年 6月5日(金) 8月20日(木) 10月30日(金) 2021年 2月1日(月) 合計4回
------	--------------	---

2 検討会・勉強会等の開催 (5回)

地域	地区病	開催日
横須賀・三浦	三浦半島 病院会/ 鎌倉市 医師会 病院会	2020年11月5日(木) 1回
湘南東部	湘南病院 協会	2020年10月24日(土) 1回
県央	大和・高 座病院協 会/厚木 病院協会	2020年7月13日(月) 11月9日(月) 2021年3月10日(水) 合計3回
県西	小田原医 師会病院 会/足柄 上病院会	0回(新型コロナウイルス 感染症の影響により中止)

(2) 地域医療支援センター関係

ア 地域医療支援センター運営委員会への参画

当協会役員から窪倉副会長(県病推薦)、小松常任理事(県医師会推薦)、小澤理事(全自病推薦)が参画。地域において必要とされる医療を確保するため、県内の医師不足の状況等を把握・分析し、医師のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院の医師確保の支援等を行った。

- ・2020年度は新型コロナのため各種行事(神奈川の地域医療を語る会、臨床研修医交流会等)は中止

(3) 新専門医制度関係

ア 神奈川県医療対策協議会専門研修プログラム調整ワーキンググループへの参画 専門研修プログラムの認定に向けた関係

者による協議会として県が設置したワーキンググループに窪倉副会長(当協会推薦委員)、小松常任理事、小澤理事、金井理事が委員として参画。日本専門医機構による専門研修プログラム認定に向けて、医師が偏在することなく専門医の質を高める体制が構築されるよう、確認、検討した。

(4) 地域医療介護総合確保基金関係

ア 令和3年度国・県予算の編成に際しての要望 次年度の予算要望において、厚生労働省・財務省及び県へ「地域医療介護総合確保基金の抜本的な見直しについて」要望した。

要望日：2020年7月16日他

(要望はI-6総務・経理に関する件に記載)

イ 地域医療介護総合確保促進法に基づく令和3年度神奈川県計画の策定に向けた意見

医療分 協会提案事業1件

提出日：2020年7月31日

(意見はI-6総務・経理に関する件に記載)

(5) 新型コロナウイルス感染症関係

ア 新型コロナウイルス対策会議

役員、県医師会、県看護協会、地区病院協会、県健康医療局、横浜市などから関係者(約80名)が県総合医療会館7階講堂に参集し、新型コロナウイルス感染症下での持続可能な地域医療提供体制の構築について、協議、意見交換、情報交換を行った。

第1回 2020年4月1日(水)午後2時30分 報告事項

- 1 「新型コロナウイルス感染症拡大による医療崩壊を防ぐための会議」(新江会長)
- 2 県感染症対策協議会(小松常任理事)
- 3 日本病院会・四病院団体協議会の対応等
(仙賀顧問兼参与)
- 4 県医師会・日本医師会の対応等
(小松常任理事)
- 5 その他

協議事項

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応
- 2 新型コロナウイルス感染症の拡大を見据えた医療体制「神奈川モデル」について

第2回 2020年4月15日(水)午後2時30分

報告事項

神奈川県の進捗状況について(県説明)

- 1 神奈川モデルについて
- 2 PCR検査体制について

協議事項

「神奈川モデル」の実現に向けて

- 1 神奈川県病院協会の意見(新江会長)
- 2 現時点での課題(小松常任理事)

情報交換(小松常任理事)

- 1 検査体制の充実について
- 2 入院受入病床について

その他

新型コロナウイルス感染に関する常勤・非常勤の休業補償調査結果
(土屋理事 相模原市病院協会会長)

第3回 2020年5月20日(水)午後2時30分

報告事項

神奈川県の状況について

- 1 神奈川モデル医療機関等について
(阿南医療危機対策統括官)

- ・重点医療機関等認定状況
- ・患者の状況(患者数、退院数等)
- ・今後の認定の考え方

- 2 PCR検査について
 - ・全体の状況(一柳医療課長)
 - ・病院での検査と委託契約の状況
(特に県所管域と政令市の考え方の違いについて)(森健康危機管理課長)
 - ・発熱者外来及び集合外来、検査センターの状況(一柳医療課長)

- 3 神奈川県感染症対策協議会(5/15)の結果
(阿南医療危機対策統括官)

- ・無症状病原体保有者及び軽症患者の療養解除等

県委託事業を活用した「新型コロナウイルス対策地域医療構想調整会議」(小松常任理事)

- 1 神奈川県医師会実施分

- ・県央地区調整会議(5月19日)報告

- 2 神奈川県病院協会実施予定分

(新型コロナ対策支援事業)

- ・実施要綱 等情報交換

第4回 2020年6月10日(水)午後4時30分

議題

- 1 緊急事態宣言解除後の医療提供体制

- ・神奈川モデル重点医療機関等の状況
(前田健康医療局長)

- ・第1次ピークアウト後の確保の考え方
(前田健康医療局長)

- ・空床確保にかかる補償・支援の具体的内容(森健康危機管理課長)

意見交換

- 2 院内・施設内クラスター対応の教訓
(阿南医療危機対策統括官)

- 3 新型コロナ地域医療構想調整会議を踏まえた課題と対応(小松常任理事)

- 4 病院経営影響度緊急調査の結果【速報】
(木村事務局長)

協議事項

国への要望について(新江会長)
(新型コロナウイルス感染症への対応に係る診療報酬に関する要望書)

情報交換

その他

- ・今後予定される医療計画の中間見直しについて(一柳医療課長)

第5回 2020年7月1日(水)午後3時

議題

- 1 緊急事態宣言解除後の医療提供体制

- ・新型コロナウイルス感染症に係る今後の医療提供体制(阿南医療危機統括官)

- ・今後を見据えた医療提供体制に係る意向調査(森健康危機管理課長)

- ・精神科コロナ医療体制について

(小泉精神保健医療担当課長)

- 2 医療機関等に対する支援制度(一柳医療課長)
 - ・感染症対応従事者慰労金交付事業、医療機関等における感染拡大防止等支援事業他
 - 3 回復期、慢性期、精神科病院、高齢者施設に対する感染対策教育指導の要望
(鈴木常任理事 湘南西部病院協会会長)
 - 4 精神科単科病院への協力について
(山口理事 県精神科病院協会副会長)
 - 5 医師・看護師・医療人材の求人情報サイト「医療のお仕事 Key-Net」
(厚生労働省医政局医事課 扇屋課長補佐)
- 情報交換
- ・コロナ調整会議を踏まえた今後の地域の対応(次の波への備え)(小松常任理事)

第6回 2020年8月19日(水)午後3時
議題

- 1 医療提供体制等(前田健康医療局長)
 - ・現在の感染、発生状況
 - ・今後の医療提供体制
- 2 神奈川県新型コロナウイルス感染症
緊急包括支援補助金(医療分)について
 - ・神奈川モデル医療機関への空床補償等の申請等について
(埋橋医療危機対策管理担当課長)
 - ・感染症対応従事者慰労金交付事業、医療機関等における感染拡大防止等支援事業の申請等について【一柳医療課長】
- 3 スマートアンプ法を始めとした検査機器等
及び補助金の活用について
(ヘルスケア田中室長代理)
- 4 病院経営状況、要望事項等調査の結果について
(一柳医療課長)

情報交換

その他

- ・厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 感染者情報の活用のあり方に関するWG」(仙賀顧問兼参与)
- ・7月22日 神奈川県感染症対策協議会
(小松常任理事)

- ・新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況の調査結果【日病・全日病・医法協】、病院への経営支援に関する関係団体意見
(新江会長)

第7回 2020年9月16日(水)午後2時30分
議題

- 1 医療提供体制等(阿南医療危機対策統括官)
 - ・現在の状況等
 - ・感染モニタリング状況
 - ・コロナ関連死亡者傾向調査結果
(神奈川モデル認定医療機関宛て調査)
 - ・最大確保可能病床数調査
(神奈川モデル認定医療機関宛て調査)
- 2 次のインフルエンザ流行に備えた医療体制の整備 ～国からの方針に、本県としてどのように対応するか～
- 3 緊急包括支援補助金について(一柳医療課長、埋橋医療危機対策管理担当課長)
 - ・申請状況等(6月補正予算分)
 - ・事業の内容と今後のスケジュール
(9月補正予算案分)
- 3 国等への提案と要望(新江会長)
「国内発生早期における新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院への正当な評価と対応について」
- 4 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 第3回感染者情報の活用のあり方に関するワーキンググループ報告(仙賀顧問兼参与)
- 5 情報交換

第8回 2020年11月4日(水)午後3時
議題

医療提供体制等について

(阿南医療危機対策統括官)

- 1 最近の患者発生動向
- 2 発熱等診療予約センターの稼働状況と発熱診療等医療機関の指定状況等
- 3 民間検査機関の年末年始検査受託予定
- 4 発熱等診療医療機関における初診に係る特

別の料金の徴収について

5 精神科関係の状況

(小泉精神保健医療担当課長)

医療提供体制の維持と感染拡大防止対策に関する事業について

1 県9月補正予算関係事業(融資制度、オンライン診療補助)(市川医療課副課長)

2 緊急包括支援事業(県三次募集分)
(埋橋医療危機対策管理担当課長)

3 県単独補助事業(施設整備費補助)
(吉野医療課課長代理)

情報交換

第9回 2020年12月16日(水)午後2時30分
議題

医療提供体制等について

(阿南医療危機対策統括官)

1 現在の状況(即応病床の状況等)

2 入院適応の見直し

(入院優先度判断スコアによる入院判断)

3 その他

補助金について(医療課 吉野課長代理)

1 新型コロナウイルス感染症患者等受入れ
医療機関の人材確保に関する補助金の交付申請手続について

2 これまでの執行状況について

3 今後の申請受付について

情報交換

・各地域の状況(医療圏での会議の実施状況等)

第10回 2021年1月20日(水)午後2時30分
議題

医療提供体制等について

1 現在の状況等(阿南医療危機対策統括官)

・患者発生状況

・積極的疫学調査

・病床拡大

・療養体制の変更

・災害対策としてのHOTセンター設置

2 ワクチンの接種体制確保

(感染症対策グループ 馬場副主任)

地域・団体のコロナ対応について

1 入院管理の継続について質疑応答

2 神奈川県病院協会からの課題提起

3 三浦半島病院会(緊急会議 新型コロナ対策会議 2021.1.14.) (長堀副会長)

4 横浜東部地域(新型コロナ受入れに係る臨時会議 2021.1.15.) (三角常任理事)

5 神奈川県慢性期医療協会(アンケート結果「退院基準を満たしている患者の受け入れについて」)(鈴木常任理事)

ワクチンの接種体制についての質疑応答

その他(情報交換など)

第11回 2021年2月17日(水)午後2時30分
議題

医療提供体制等について

1 感染状況と県の対策

(阿南医療危機対策統括官)

2 ワクチン接種体制確保(徳永保健医療部長)

3 高齢者施設への対応(山本高齢福祉課長)

課題提起

介護保険施設でのコロナ患者留め置き及び円滑な退院受入れ(後方支援)に係る正当な介護報酬評価について(窪倉副会長)

団体・地域のコロナ対応について

1 県医師会第2回新型コロナウイルス感染症対策における地域医療構想調整会議

(小松常任理事)

2 横浜市病院協会「コロナ陽性患者の入院管理を現在行っていない病院において発生した陽性患者の入院管理の継続依頼について」(県への要望)(新納常任理事)

情報交換

第12回 2021年3月17日(水)午後2時30分
ミニ・シンポジウム「コロナと闘った1年を振り返って～今後に向けた課題～」

・ダイヤモンドプリンセス号及び国内発生早期からの対応

・臨時の医療施設、関連の宿泊施設など

※通常の会議参加者以外も視聴できるよう、
生配信及び録画配信を実施

次第

座長 長堀副会長

演者1 神奈川県医療危機対策本部
中森 知毅 先生
(横浜労災病院 救急災害医療部長)

演者2 湘南鎌倉総合病院院長
篠崎 伸明 先生

演者3 横浜市立市民病院病院長
石原 淳 先生

イ 県等主催の会議、共同記者会見等への参画

1 神奈川県感染症対策協議会（全10回）
出席：当協会推薦委員 小松常任理事
第9回は長堀副会長が代理出席

2 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザ流行期に向けた対策に係る共同宣言
(県知事、県医師会長との合同記者会見)
日時：2020年10月8日（木）14時
出席：新江会長

3 「医療崩壊にならないよう、改めて徹底した
感染防止をお願い」する旨、県民へ3者
共同でメッセージを発出
(県知事、県医師会長との合同記者会見)
日時：2020年12月24日（木）午後1時30分
出席：新江会長
共同メッセージ

神奈川県では、新型コロナウイルスの
日々の新規感染者数が300人を超え、感染
拡大はとどまることを知りません。これま
で医療従事者と行政は一致団結して対応
してきましたが、新型コロナウイルスとの
闘いにはより多くの医療者と医療施設が
必要となっており、現場の受け入れは限界
に近づいています。

このままでは、新型コロナウイルス感染
症のみならず、県民が通常の医療を受けら

れなくなる「医療崩壊」につながり、助け
られる命が助けられなくなることになり
かねません。

いま最も重要なのは、新たな感染者を増
やさないことです。このクリスマスや年末
年始の皆様ひとりひとりの行動が、皆さん
の身近な人の命を救うことにもつながり
ます。

皆様自身の健康のためにも、改めて徹底
した感染防止対策をお願いします。

令和2年12月24日

4 県ホームページに動画を掲載

「県民の皆様へ 適正な受診のために病院か
らのお願い」（2020年10月26日から掲載）

5 神奈川県議会 厚生常任委員会への出席
日時：2021年1月19日（火）午後2時
参考人として、長堀副会長、三角常任理
事他が出席し、協力病院（コロナ症状回復
後の転院受入病院）の拡充を訴えた。

ウ 調査

1 新型コロナウイルス感染拡大による病院
経営状況緊急調査（6月15日 速報最終版）
病院経営への影響を明らかにし、必要な行政
等への働きかけを行う際の基礎資料とする
ため、横浜、川崎、相模原の3政令市病院協
会と協同して実施。

実施期間：5月21日～6月8日

回答数：148（回答率50.0%）

結果：4月の医業利益率は平均-15.2%で、
全国と比較しても悪化。
経済的な面からの医療崩壊が起き
かねない状況が判明。この結果を
踏まえて6月15日に国へ要望した。

エ 意見・要望の提出

（要望はI-6 総務・経理に関する件に掲載）

1 新型コロナウイルス感染症への対応に

係る診療報酬等に関する要望書（6月15日
内閣総理大臣及び厚生労働大臣宛）

病院経営状況緊急調査の結果から、すべての医療機関の入院基本料、外来診療料を一定期間2倍程度に増額すること、医療機関向けの持続化給付金を早急に検討し実施することなど、9項目を要望した。

- 2 湘南西部病院協会による「回復期、慢性期、精神科病院、高齢者施設に対する COVID-19 に対する感染対策教育指導の要望」について（6月25日 神奈川県健康医療局長宛）
急性期の病院を含めて、全県的に実施されたい旨、当協会としても要望した。

- 3 令和3年度 国及び神奈川県予算の編成に際しての要望（7月16日 厚生労働大臣及び財務大臣宛）
「コロナ感染症下における医療提供体制確保のための支援について」国及び県等に要望した。

- 4 院内感染の水際対策として実施する PCR 検査に関する要望書（7月16日 厚生労働大臣宛）
新型コロナウイルス感染症の感染収束までの一定期間、院内感染の水際対策として

- 1 全入院患者に対する PCR 検査の実施（保険適用）
- 2 病院職員に対する定期的な PCR 検査の実施（公費負担）について、認めていただきたい。
- 3 また、その実現のため、十分かつ迅速な PCR 検査ができるよう、早急に体制を確立していただきたいことについて要望した。

- 5 国内発生早期における新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院への正当な評価と対応について（提案と要望）（9月18日 内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣宛）
令和2年の年明け早々から、本県をはじめ、

北海道、東京、愛知、大阪など先駆的に患者を受入れてきた地域の病院への診療報酬上の対応、措置などは、「年度が替わる前のこと」としてほとんど実施されておらず、一部、神奈川県等が遡っての支援の予算化を検討しているにすぎないことから、県内での状況を踏まえ提案するとともに、次のことについて要望した。

- 1 コロナ診療に対する正当な評価に基づく診療報酬を令和2年1月にさかのぼり実施すること
- 2 受入れ病院が、感染制御・防止対策のために取り組んだ超過的な負担への支援措置を講じること
- 3 先駆的に患者受入れと治療に取り組む病院に対し、受け入れ実績に応じて、DPC 係数の実効性のある加算を一定期間設定すること

- 6 横浜市病院協会から1月29日付で要望のあった「コロナ陽性患者の入院管理を現在行っていない病院において発生した陽性患者の入院管理の継続依頼」について（2021年2月12日）
全県的に実施されたい旨、要請した。

オ 会員病院及び地区病院協会への周知・依頼
会議資料、要望書、調査結果、国・県の通知は随時ホームページへアップした。
会員に対し、緊急性の高いものは、FAX とホームページを併用。重要なものはDM 便で周知。
地区病院協会には、メールと DM 便で依頼及び周知を行った。

- 1 「医療アラート」の発動に伴う即応病床の拡大要請と地域での病院関係者の連携・協力の促進について（11月27日）
県の通知を周知し、神奈川モデル認定医療機関を中心に（高度・重点医療機関の負担軽減を図るため、下りなどの転院をスムーズにするなどの）病院間の役割分担の明確化や体

制支援、技術協力など連携・協力関係を促進するための会議の積極的な開催を会員病院及び地区病院協会にお願いした。

2 地域での病院関係者の連携・協力の一層の促進について（12月23日）

12月22日開催の神奈川モデル認定医療機関会議を踏まえて、年末年始に向けて改めて、病院間の役割分担の明確化や体制支援、技術協力など連携・協力関係を促進するための会議の積極的な開催を地区病院協会にお願いした。

3 陽性患者の入院管理を現在行っていない病院において発生した陽性患者の入院管理の継続について（令和3年1月13日）

県の通知を、会員病院及び地区病院協会にあって、周知するとともに、できる限りの対応をお願いした。なお、この件への今後の対応については、1月20日開催の新型コロナウイルス感染症対策会議において協議することとしている。

4 その他（FAX 及びDM 便対応）

①2020年4月9日 DM 便「医療崩壊を防ぐための神奈川モデル」に対する意見について

②4月10日 FAX「神奈川県通知 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた医療体制の整備について」

③4月15日 FAX 「N95 マスクの再利用について」

④4月24日 宅急便「マスク 1,000 枚の提供について」（国・県から配布が無い会員 38 病院へ）

⑤5月1日 FAX「PPE セットの配布希望について（照会）（二次救急医療機関の会員病院宛 ※公立除く）」

⑥5月12日 宅急便「マスク 250 枚の提供について」（73 病院へ送付）

⑦5月22日 DM 便「新型コロナウイルス感

染症に関する病院経営影響度緊急調査について」

⑧5月26日 FAX「保険医療機関等の6月における資金繰り対策としての診療報酬の概算前払いについて」

⑨5月26日 FAX「ボタン形酸化銀電池SR41W（電子体温計交換用電池 LR41 互換品）について」

⑩6月17日 DM 便「新型コロナウイルス感染症への対応に係る要望書の提出について」

⑪7月2日 DM 便「新型コロナウイルス感染症の抗体検査に関する研究について」

⑫9月10日 FAX「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（医療分）の申請について」

⑬9月11日 FAX「令和2年度院内感染対策講習会 新型コロナウイルス感染症の特別講習（オンライン研修）などについて」

⑭9月29日 DM 便「国内発生早期における新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院への正当な評価と対応についての国への提案と要望について」

⑮12月28日 FAX「新型コロナに関する県からの協力依頼2件（神奈川県対策本部搬送調整者の登録、病院経営状況の調査への協力）について」

⑯2021年1月9日 FAX「即応病床確保のため、病院・医療関係者への一層の連携・協力の推進について」

⑰2月8日 DM 便「新型コロナウイルス感染症に関する情報の送付について」

⑱2月8日 DM 便「支援物資（清涼飲料水）の寄贈について」

カ 医療資材等の寄付受入れと提供

1 マスク 58,000 枚（4月～5月）

国・県から未だ配布が少ないと思われる 111 病院へ提供（寄付：ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区より 38,000 枚＋県からの提供分 20,000 枚）

2 レインコート 10,000 着（5月）

資材がひっ迫するコロナ患者受け入れ 12 病院へ県を通じて提供（寄付：社団法人台湾日本語国際化協会他）

- 3 電子体温計交換用電池 3,000 個（5 月）
会員病院に照会の結果、希望する 256 病院へ提供（寄付：セイコーインスツル株式会社）
- 4 PPEセットの配付協力（5 月）
日本医師会からの無償提供の配付先について、県医師会から相談があり、二次救急医療機関に照会。101 病院へ提供
- 5 寄付金（5 万円）（6 月）
県内在住の方からの寄付。理事会の協議の結果、病院医療振興基金に収めることとし、病院学会等、コロナを取り上げる機会に活用させていただくこととした
- 6 マスク 2,021 枚（12 月）
新型コロナウイルス対策会議等で配布
（寄付：社団法人台湾日本語国際化協会）
- 7 清涼飲料（エナジードリンク）（2021 年 2 月）
会員病院にお知らせし、希望された 90 病院に合計 46,128 本を提供
（寄贈：レッドブル・ジャパン株式会社）

3 学術委員会

（1）委員会の構成

委員長（担当副会長）

長堀 薫 横須賀共済病院長

委員（担当常任理事）

沼田 裕一 横須賀市立うわまち病院管理者

高野 靖悟 相模原協同病院名誉院長

三角 隆彦 済生会横浜市東部病院長

菅 泰博 麻生総合病院理事長兼病院長

委員（担当理事）

小澤 幸弘 三浦市立病院総病院長

牧田 浩行 神奈川県立足柄上病院長

山田健一朗 平塚市民病院長

事業委員（幹事）

荒木 洋 神奈川県病院協会顧問兼参与

事業委員

玉井 拙夫 神奈川県予防医学協会医師

本間 明 横浜市立脳卒中・神経脊椎
センター事務部長

大嶋 一郎 横浜南共済病院事務部長

毛利 元和 藤沢脳神経外科病院事務長

藤田 寛 神奈川県医療ソーシャル
ワーカー協会会長

片川 一之 神奈川県医療専門職連合会長

藤井理恵薫 神奈川県栄養士会医療事業部会長

尾花由美子 神奈川県看護協会常務理事

高崎 智彦 神奈川県公衆衛生協会理事

錠内 広之 神奈川県作業療法士会長

池田 陽子 神奈川県精神保健福祉士協会会長

金田 光正 神奈川県病院薬剤師会長

大内 幸敏 神奈川県放射線技師会長

佐藤 史子 神奈川県理学療法士会長

片川 一之 神奈川県臨床検査技師会長

小林 剛志 神奈川県臨床工学技士会長

梅田 弘之 全国病院理学療法協会
神奈川県支部会執行委員長

(2) 委員会等の開催状況

ア 第1回学術委員会

(書面審議 2020 年 11 月 26 日付)

内 容

協議事項

第 40 回神奈川県病院学会について

(ア)開催

- ①学会テーマ
- ②開催時期
- ③開催スタイル
- ④学会誌
- ⑤優秀演題の表彰

(イ)基調講演及びシンポジスト

(ウ)関係団体協力員

(エ)チラシ及びポスター

イ 第2回学術委員会

日 時 2021 年 2 月 17 日(水)午後 4 時 15 分

場 所 県総合医療会館 7 階講堂及び
オンライン

出 席 23 名

内 容

報告事項

(ア)第1回学術委員会(書面審議)結果

(イ)特別講演(講師など)

協議事項

第 40 回神奈川県病院学会について

- (ア)プログラム及び特別講演演者
- (イ)シンポジウム(シンポジスト)
- (ウ)一般演題募集
- (エ)学会長表彰
- (オ)役割分担
- (カ)今後のスケジュール(案)

(3) 事業等の概要

ア 第39回神奈川県病院学会

2020 年 11 月 18 日(水)に開催を予定
していたが、新型コロナウイルス感染症の
感染拡大防止のため中止

4 教育研修委員会

(1) 委員会の構成

委 員 長(担当副会長)

長堀 薫 横須賀共済病院長

委 員(担当常任理事)

菅 泰博 麻生総合病院理事長(兼)病院長

委 員(担当理事)

金井 歳雄 川崎市立川崎病院長

委 員(担当幹事)

荒木 洋 神奈川県病院協会参与

事業委員

山田 修 相模ヶ丘病院理事長

鈴木 通 湘陽かしわ台病院事務部長

丘 真樹 丘整形外科病院事務部長

岡野 秀行 横浜鶴見リハビリテーション病院
事務部長

(2) 事業等の概要

ア 2020 年度(第 49 回)病院管理研修

共催者である神奈川県と協議の結果、新型
コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5 調査委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

数野 隆人 藤沢脳神経外科病院理事長

委員 (担当常任理事)

新納 憲司 大田東総合病院理事長

委員 (担当理事)

井上 元保 伊勢原協同病院顧問

中野 太郎 相模原中央病院長

事業委員 (幹事)

伊藤 稔 湘南中央病院統括事務部長

事業委員

松本 進 育生会横浜病院事務長

(2) 事業等の概要

ア 2020 年度調査

依頼日 2021 年 2 月 8 日 (月)

締切日 2021 年 3 月 5 日 (金)

調査目的

会員 (286 病院) の労務管理を資するため、定期昇給等並びにモデル職種 (医師及び看護師) の基準内給与の実態を把握する

集計方法

経営主体を、医療法人、医療法人以外の 2 区分に、また、200 床以上、200 床未満の 2 区分に分けて集計を行った。金額など記入漏れや不可解なものは除外し、金額の平均値を取り、これを採用した。

調査結果

2021 年 4 月 9 日付で会員に報告書を送付

回答状況

内 容	回答数	回答率
定期昇給等調査		
・定期昇給実施月	83	29.0%
・ベースアップ実施月	83	29.0%
モデル職種別平均給与月額		
・医師	83	29.0%
・看護師	83	29.0%

6 保険医療対策委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

数野 隆人 藤沢脳神経外科病院理事長

委員 (担当常任理事)

沼田 裕一 横須賀市立うわまち病院管理者

高原 和享 湘陽かしわ台病院理事長

委員 (担当理事)

土屋 敦 澁野辺総合病院理事長

事業委員 (幹事)

持丸 幸一 相模台病院事務部長

事業委員

武田 匡弘 医療法人相和会医療企画部長

有泉 義一 湘南ホスピタル事務部長

秋山 貴志 東名厚木病院診療情報管理室副部長

(2) 委員会等の開催状況

ア 保険医療対策委員会

(書面審議 2020 年 6 月 16 日付)

内 容

2020 年度事業「第 1 回医事研究会
ワークショップ」について

(3) 事業等の概要

令和 2 年度診療報酬改定に関して取りまとめた質問を関東信越厚生局神奈川事務所に提出。回答は 2 回に分けて会員周知した。

周知日 (ホームページ掲載)

① 2020 年 4 月 17 日

② 2020 年 5 月 12 日

6-1 医事研究部会

(1) 部会の構成

部会長

持丸 幸一 相模台病院事務部長

副部会長

武田 国弘 医療法人相和会 医療企画部長

部会委員

有泉 義一 湘南ホスピタル事務部長

秋山 貴志 東名厚木病院診療情報管理室副部長

杉浦 浩 総合病院湘南病院医事課長

野中 義哲 鶴巻温泉病院事務次長

伊藤 正行 太田総合病院医事務局長

望月 稔之 山近記念総合病院事務長

小笠原一志 小田原循環器病院医事課長

吉川 利通 湘陽かしわ台病院医事課長

(2) 部会の開催状況

場所は何れも県病院協会会議室

ア 第1回医事研究部会

日時 2020年7月21日(火) 午後1時30分

出席 8名

内容 第1回医事研究会について

イ 第2回医事研究部会

日時 2020年8月21日(金) 午後1時30分

出席 8名

内容 研修事業に係る打合せ

ウ 第3回医事研究部会

日時 2020年11月27日(金) 午後1時30分

出席 10名

内容 研修事業および来年度事業に係る
打合せ

(3) 事業等の概要

ア 第1回医事研究会(ワークショップ)

2020年10月16日(金)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止

7 救急・防災対策委員会

(1) 委員会の構成

委員長(担当副会長)

吉田 勝明 横浜相原病院長

委員(担当常任理事)

沼田 裕一 横須賀市立うわまち病院管理者

南 康平 丹羽病院理事長・院長

委員(担当理事)

山下 巖 東名厚木病院長

石原 淳 横浜市立市民病院長

山本 裕司 藤沢湘南台病院長

事業委員(幹事)

江原 正恭 社会医療法人社団三思会
理事長室室長

事業委員

小林 章利 川崎市立多摩病院事務部長

折登 剛 済生会横浜市東部病院

事務部長代行

横溝 克明 神奈川県立循環器呼吸器病
センター事務局長

(2) 委員会等の開催状況

ア 第7回愛知県病院協会と神奈川県病院協会 との交流・連携会議

新型コロナウイルス感染症の感染拡大
防止のため、中止

(3) 県主催事業の協力

ア 令和2年度 神奈川県・医療機関の災害 時医療情報伝達訓練

県災害医療担当課長からの依頼により、
広域災害救急医療情報システム(EMIS)を
活用した訓練(2020年11月16日)を
会員に周知

※新型コロナウイルス感染症に関する対応は、
Ⅱ-2-1 地域医療対策事業に記載

8 病院従事者対策委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

長堀 薫 横須賀共済病院長

委員 (担当常任理事)

高原 和享 湘陽かしわ台病院理事長

松島 誠 松島病院理事長・総院長

高野 靖悟 相模原協同病院名誉院長

委員 (担当理事)

高橋 寛 昭和大学藤が丘病院長

事業委員 (幹事)

畑 宏明 横須賀共済病院事務部長

事業委員

中村 基樹 松島病院局長代行

(2) 事業の概要

ア 神奈川県病院医療関係団体連絡協議会

構成 全病理神奈川県支部、県医療ソーシャルワーカー協会、県看護協会、県看護部長会、県作業療法士会、県栄養士会医療事業部会、県病院薬剤師会、県放射線技師会、全国病院理学療法協会県支部会、県理学療法士会、県臨床検査技師会、県臨床工芸技師会、県健康医療局、県病院協会
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 第18回大学・同付属病院と県下病院との連携に関する意見交換会

「働き方改革」をテーマに開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 令和2年度神奈川県看護職員認知症対応力向上研修への協力

受託団体 (かながわ健康財団) の周知等に協力

9 医療安全対策委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

吉田 勝明 横浜相原病院長

委員 (担当常任理事)

松井 住仁 長田病院理事長

事業委員 (幹事)

江原 正恭 社会医療法人社団三思会理事長
室室長

事業委員

濱田 和也 平塚共済病院事務部長

酒井 篤史 横浜相原病院事務長

(2) 委員会の開催状況

神奈川県医療安全対策事業実行委員会

委員長

吉田 勝明 (神奈川県病院協会副会長)

副委員長

川田 剛裕 (神奈川県医師会理事)

神部 哲哉 (神奈川県歯科医師会常任理事)

委員

尾花由美子 (神奈川県看護協会常務理事)

橋本 真也 (神奈川県薬剤師会副会長)

一柳 和美 (県健康医療局 医療課長)

ア 令和2年度第1回実行委員会

(書面審議 2020年9月28日付)

議題

(1) 実行委員会副委員長の選任について

(2) 令和2年度神奈川県医療安全推進セミナーの開催について

(3) 令和2年度の負担金について

(4) 開催中止と他場合の当番団体について

(5) 神奈川県医療安全対策事業実行委員会
規程の改正について

(3) 事業等の概要

ア 神奈川県医療安全推進セミナー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

10 広報委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

長堀 薫 横須賀共済病院長

委員 (担当常任理事)

太田 史一 太田総合病院長

委員 (担当理事)

鳴海 裕之 寒川病院長

徳田 博正 徳田病院長

事業委員 (幹事)

平林 広康 近藤病院事務長

事業委員

高野 昇平 横須賀市立うわまち病院
事務次長

武田 朋久 済生会神奈川県病院
事務部長代行

(2) 委員会等の開催状況

ア 第1回広報委員会

(書面審議 2020年10月23日付)

内容

協議事項

会報第51号の編集方針(案)について

(3) 事業等の概要

ア 会報第51号の発行

(2021年3月19日発行)

新江良一会長 ご逝去

巻頭言

「コロナ禍が明らかにしたこと、コロナ
後への期待」

副会長 窪倉 孝道

追悼

「新江良一先生を悼んで」

常任理事 長倉 靖彦

「新江会長 ごつあんでした！」

常任理事 小松 幹一郎

「新江先生を偲んで」

常任理事 菅 泰博

会長就任

「会長就任挨拶」 会長 吉田 勝明

事務局から

「新型コロナと対峙した1年

～神奈川県病院協会の取り組み～」

事務局長 木村 博嗣

寄稿

『リーダーの哲学』～敗者の事例から学ぶ～

常任理事 篠原 裕希

行事

・2020年度事務長表彰

・神奈川県看護師等養成実習病院の実習指
導者表彰

随想

「五十の手習い。」

県作業療法士会 会長 錠内 広之

「変化を楽しむ」

県理学療法士会 会長 佐藤 史子

「地域とともに～当病院の今後について～」

理事 鳴海 裕之

「コロナ禍における予算作成について」

横須賀市立うわまち病院

事務次長 高野 昇平

会員病院紹介

・神奈川病院

・村田会湘南大庭病院

・秦野厚生病院

・相州病院

・横浜市民市民病院

・新百合ヶ丘総合病院

・相模原協同病院

・聖ヨゼフ病院

・茅ヶ崎中央病院

・湯河原病院

編集後記

副会長 長堀 薫

広告掲載 18社

表紙写真 「ソメイヨシノ」

撮影

常任理事 長倉 靖彦

イ「理事会だより」の発行(年10回発行)

理事会の主な議事結果を会員に周知した。

1 1 厚生福祉委員会

②ボウリング大会の開催
(イ) 2019 年度スポーツ大会報告

(1) 委員会等の構成

ア 厚生福祉委員会

委員長 (担当副会長)

吉田 勝明 横浜相原病院長

委員 (担当常任理事)

松島 誠 松島病院理事長・総院長

委員 (担当理事)

宮川 政久 宮川病院理事長(兼)院長

池島 秀明 湘南泉病院理事長

事業委員 (幹事)

横山 伸泰 鹿島田病院事務局長

事業委員

川原 哲司 聖マリアンナ医科大学
人事課主査

中村 基樹 松島病院局長代行

(3) 事業等の概要

ア 第 63 回野球大会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止

イ 第 52 回女子バレーボール大会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止

ウ 第 49 回ボウリング大会

2021 年 1 月 17 日 (日) に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止

イ 野球大会実行委員会

(事業委員及び実行委員で構成※実行委員のみ表記)

実行委員

林 進一 (大口東総合病院)

ウ バレーボール大会実行委員会

(事業委員及び実行委員で構成※実行委員のみ表記)

実行委員

宮下 伸一 (横浜バレーボール協会)

エ ボウリング大会実行委員会(事業委員で構成)

(2) 委員会等の開催状況

ア 厚生福祉委員会

(書面審議 2020 年 5 月 1 日付)

内 容

(ア) 2020 年度スポーツ大会について

報告事項

①野球大会の中止

協議事項

①女子バレーボール大会の中止

1 2 病院経営対策委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

数野 隆人 藤沢脳神経外科病院理事長

委員 (担当常任理事)

南 康平 丹羽病院理事長・院長

新納 憲司 大口東総合病院理事長

委員 (担当理事)

今井 重信 湘南中央病院名誉院長

事業委員 (幹事)

鈴木 通 湘陽かしわ台病院事務部長

(2) 事業等の概要

教育研修委員会と神奈川県との共催で病院管理研修を実施・運営しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

1 3 高齢者医療対策委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

数野 隆人 藤沢脳神経外科病院理事長

委員 (担当常任理事)

鈴木 龍太 鶴巻温泉病院理事長

松井 住仁 長田病院理事長

委員 (担当理事)

角野 禎子 青木病院理事長兼院長

杉山 肇 神奈川リハビリテーション病院院長

事業委員 (幹事)

石川 達也 湘南長寿園病院事務部長

事業委員

玉木 和彦 田名病院事務長

花岡 伸 小松会病院事務長

田村 一浩 鶴巻温泉病院事務長

(2) 委員会等の開催状況

ア 2020 年度高齢者医療対策委員会

(書面審議 2020 年 12 月 4 日)

内 容 2021 年度介護報酬改定説明会の開催について

(3) 事業等の概要

ア 2021 年度介護報酬改定説明会 (WEB 開催)

日 時 2021 年 3 月 22 日 (月)

場 所 県総合医療会館 7 階大講堂

内 容

講 演 1 「介護保険制度の改正及び介護報酬改定について」

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部

高齢福祉課 高齢者施設調整

担当課長 諸尾 仁志

講 演 2 「令和 3 年度介護報酬改定 介護 DX 科学的介護元年、老健通所訪問リハ 新たな幕開け」

株式会社今瀬ヘルスケアコンサルティング

所長 今瀬 俊彦

閉会挨拶 幹事 石川 達也

1 4 精神保健対策委員会

(1) 委員会の構成

委員長 (担当副会長)

吉田 勝明 横浜相原病院長

委員 (担当常任理事)

菅 泰博 麻生総合病院理事長(兼)病院長

委員 (担当理事)

山口 哲顕 港北病院理事長兼院長

事業委員 (幹事)

酒井 篤史 横浜相原病院事務長

事業委員

山田 修 相模ヶ丘病院理事長

奈良 孝一 港北病院事務長

(2) 事業等の概要

例年実施している県民公開講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

1 5 事務長部会

(1) 部会の構成

代表幹事

鈴木 通 湘陽かしわ台病院事務部長

副代表幹事

横山 伸泰 鹿島田病院事務局長

岡野 秀行 横浜鶴見リハビリテーション病院
事務部長

地区幹事

荒木 洋 神奈川県病院協会参与

武田 朋久 済生会神奈川県病院
事務部長代行

松田 隆 湘南泉病院事務部長

大嶋 一郎 横浜南共済病院事務部長

小林 章利 川崎市立多摩病院部長

丘 真樹 丘整形外科病院事務部長

畑 宏明 横須賀共済病院事務部長

神保 健志 大船中央病院総務部長

伊藤 稔 湘南中央病院統括事務部長

田村 一浩 鶴巻温泉病院事務長

久木田光司 東名厚木病院事務長

中村 恭 小林病院事務長

荘田 俊夫 神奈川県立足柄上病院事務局長

予備幹事

小野 隆博 大口東総合病院事務長

細谷実知博 たま日吉台病院事務長

海野 幸村 さがみリハビリテーション病院事務長

佐藤 安志 三浦市立病院事務部長

魚瀬由美子 藤沢御所見病院事務局長

濱田 和也 平塚共済病院事務部長

平林 広康 近藤病院事務長

鈴木 良昭 小田原循環器病院事務部長

特別顧問

江原 正恭 社会医療法人社団三思会
理事長室室長

(2) 幹事会開催状況 (全日程オンラインで開催)

ア 第1回事務長部会・幹事会

日時 2020年4月8日(水)午後3時

場所 神奈川県総合医療会館2階会議室

- 議 題 ①事務長部会運営幹事の校正
 ②自己紹介
 ③代表幹事の選出
 ④副代表幹事の選出
 ⑤特別顧問の依頼
 ⑥各幹事の事業班への所属について
 ⑦2020 年度事業計画
 ⑧医療に関する情報提供
 ⑨新型コロナ対策会議について

イ 第 2 回事務長部会・全体幹事会

- 日 時 2020 年 5 月 13 日 (水) 午後 3 時
 場 所 神奈川県病院協会会議室
 議 題 ①2020 年度幹事の構成について
 ②幹事会の日程
 ③2020 年度事業計画
 ④2020 年度第 1 回医業経営
 セミナーについて
 ⑤上半期アンケート調査
 ⑥Stock の活用について

ウ 第 3 回事務長部会・全体幹事会

- 日 時 2020 年 6 月 17 日 (水) 午後 3 時
 場 所 神奈川県病院協会会議室
 議 題 ①上半期アンケート調査について
 ②第 1 回医業経営セミナーについて
 ③医療に関する情報提供
 ④新型コロナウイルス感染症に
 関する病院経営緊急調査 (速報)

エ 第 4 回事務長部会・幹事会

- 日 時 2020 年 7 月 8 日 (水) 午後 3 時 15 分
 場 所 神奈川県総合医療会館 2 階会議室
 議 題 ①事務長部会運営幹事の構成
 ②自己紹介
 ③各幹事の事業班の所属について
 ④2020 年度事業計画
 ⑤第 1 回医業経営セミナーについて
 ⑥医療に関する情報提供
 ⑦第 5 回新型コロナ対策会議報告
 ⑧新型コロナウイルス対策支援事業

オ 第 5 回事務長部会・幹事会

- 日 時 2020 年 8 月 12 日 (水) 休会

カ 第 6 回事務長部会・全体幹事会

- 日 時 2020 年 9 月 9 日 (水) 午後 3 時
 場 所 神奈川県総合医療会館 2 階会議室
 議 題 ①上半期アンケート調査について
 ②第 1 回医業経営セミナーについて
 ③医療に関する情報提供
 ④その他
 (ア)今年度後半の行事予定
 (イ)地域医療構想講演会
 「みうら半島の明日を考える
 part6」の講演
 (ウ)神奈川県医療対策協議会
 (書面会議) 報告
 (エ)神奈川県 9 月補正予算案
 (オ)新型コロナウイルス感染症
 医療体制「神奈川モデル」重点
 医療機関協力病院の認定基準
 に係る運用方針
 (カ)2020 年度病床機能分化・連携
 促進事業及び新型コロナ対策
 支援事業にかかる申請状況

キ 第 7 回事務長部会・幹事会

- 日 時 2020 年 10 月 14 日 (水) 午後 3 時
 場 所 神奈川県総合医療会館 2 階会議室
 議 題 ①下半期アンケート調査について
 ②第 1 回医業経営セミナーについて
 ③医療に関する情報提供
 ④その他
 (ア)第 1 回 JML 軟式野球大会
 神奈川大会共催
 (イ)国内発生早期における新型
 コロナウイルス感染症患者
 受入病院への正当な評価と
 対応について (提案と要望)
 (ウ)令和 2 年度第 2 回神奈川県保
 健医療計画推進会議報告

ク 第 8 回事務長部会・幹事会

日 時 2020 年 11 月 11 日(水) 午後 3 時
場 所 神奈川県総合医療会館 2 階会議室
議 題 ①下半期アンケート調査について
②第 1 回医業経営セミナーについて
③医療に関する情報提供
④その他
(ア) 県医療計画の中間見直しにおける基準病床数の見直し検討
(イ) 看護賠償責任保険新たな団体保険制度

ケ 第 9 回事務長部会・幹事会

日 時 2020 年 12 月 9 日(水) 午後 3 時
場 所 神奈川県総合医療会館 7 階講堂
議 題 ①下半期アンケート調査について
②医療に関する情報提供

コ 第 10 回事務長部会・全体幹事会

日 時 2021 年 1 月 13 日(水) 午後 3 時
場 所 神奈川県総合医療会館 2 階会議室
議 題 ①下半期アンケート調査について
②医療に関する情報提供
③その他
(ア) 2021 年度介護報酬改定説明会の開催
(イ) 第 40 回病院学会の開催
(ウ) 令和 2 年度第 2 回地域医療構想調整会議の結果
(エ) 地域医療介護総合確保基金の活用について
(オ) 「医療アラート」の発動に伴う即応病床の拡大要請と地域での病院関係者の連携・協力の推進について
(カ) 神奈川モデルにおける重点医療機関協力病院の拡充
(キ) 即応病床確保のため、病院・医療関係者の一層の連携・協力の推進について
(ク) 積極的疫学調査の「神奈川モデル」について

サ 第 11 回事務長部会・幹事会

日 時 2021 年 2 月 10 日(水) 午後 3 時
場 所 神奈川県総合医療会館 2 階会議室
議 題 ①下半期アンケート調査について
②医療に関する情報提供
③その他
(ア) 2021 年の総会・理事会等の日程
(イ) 今年度の会議 開催日程
(ウ) 介護報酬改定説明会について

シ 第 12 回事務長部会・幹事会

日 時 2021 年 3 月 11 日(水) 午後 3 時
場 所 神奈川県総合医療会館 2 階会議室
議 題 ①下半期アンケート調査について
②医療に関する情報提供
③2021 年度開催日程
④その他
(ア) 第 12 回新型コロナウイルス対策会議について
(イ) 2020 年度調査の実施
(ウ) 2020 年度事務長等表彰の被表彰者について

(3) 事業班の構成

情報収集・提供班	研究・調査班	研修班
鈴木 通 (県央)	横山 伸泰 (川崎南)	岡野 秀行 (横浜東)
武田 朋久 (横浜北)	荒木 洋 (推薦)	松田 隆 (横浜西)
大嶋 一郎 (横浜南)	畑 宏明 (横須賀・三浦)	伊藤 稔 (湘南東部)
田村 一浩 (湘南西部)	小林 章利 (川崎北)	久木田光司 (県央)
荘田 俊夫 (県西)	丘 真樹 (相模原)	中村 恭 (県西)

(4) 事業班の活動

ア 情報収集・提供班

各月、幹事の当番制により、地域の状況報告を実施、また、必要に応じ会員へホーム

ページによる情報配信、郵送等を実施。

イ 研究・調査班

会員施設の現状を把握し、有益な情報提供を目的として実施した。

1 上半期調査（調査対象 会員 286 病院）

内 容 事務当直者について

実施時期 2020 年 7 月～8 月

2 下半期調査（調査対象 会員 286 病院）

内 容

I 「コロナによる影響」事務当直者について

II 「勤務時間、出勤、退勤時間の把握方法」

実施時期 2021 年 1 月～2 月

ウ 研修班

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンラインで配信

1 2020 年度医業経営セミナーの開催

共催 日本医業経営コンサルタント
協会神奈川県支部

内容 「コロナウイルスが病院に
与える影響と対策」
東日本税理士法人代表社員
所長／社会・特定医療法人
協議会 代表監査法人
長隆事務所 長 英一郎

配信 2020 年 12 月 14 日(月)15 時～
12 月 21 日(月)15 時

アクセス数 219

2 講演会（後援）

主催 大和高座病院協会・厚木病院協会

内容 「地域医療構想の推進に向けた
地域での医療データの活用」
国立大学法人神戸大学大学院
医学研究科／地域社会医学・健康
科学講座医療システム学分野 医療
経済・病院経営学部門／神戸大学医
学部附属病院情報分析推進室副室
長 特命准教授 小林 大介 先生

配信 2021 年 3 月 19 日(金)9 時～
3 月 31 日(水)17 時

アクセス数 117

1 6 看護職者賠償責任保険

団体制度の運営

昨今医療過誤事故が多発し、社会的関心が高まるなかで、医事紛争の増加や賠償金額の高額化等の傾向が見られ、病院経営にとって憂慮すべき状況になっている。この傾向のなかで看護職が関与する医療過誤事故において、看護職が病院、医師とともに連帯責任を問われるケースが増加すると予想されたため、平成 12 年から保険料が割引される団体制度を発足させ、当協会会員病院（横浜市病院協会の実施する保険加入病院を除く）を対象として、保険への加入を希望する看護職の負担軽減を図っている。

2020 年 12 月 31 日現在の加入状況

加入病院数 114 病院

加入者数 6,680 人

(看護師 6,529 人 保健師 14 人 助産師 137 人)

保険期間 1 年間(1 月 1 日～12 月 31 日)

引受会社 損害保険ジャパン株式会社

※2021 年から、横浜市病院協会の団体保険制度と統合

2021 年 3 月 31 日現在の加入状況

加入病院数 175 病院

加入者数 9,477 人

(看護師 9,280 人 保健師 29 人 助産師 168 人)

保険期間 1 年間(1 月 1 日～12 月 31 日)

引受会社 損害保険ジャパン株式会社